

STIEBEL ELTRON

蓄熱式電気暖房器

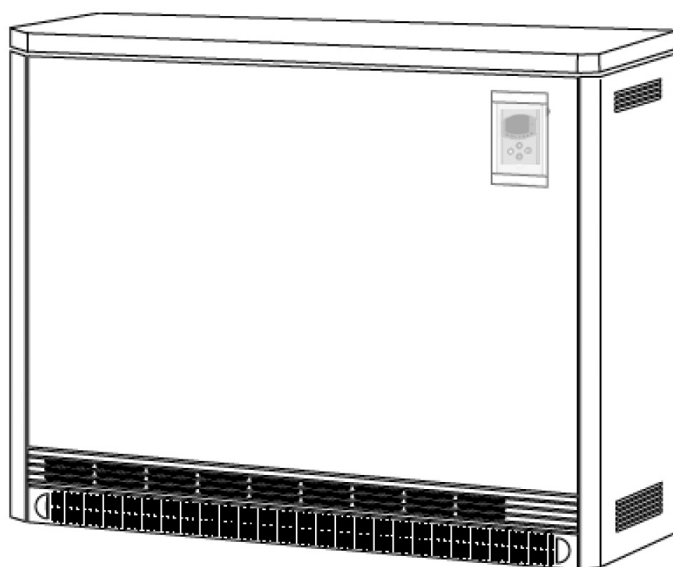
取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

品 名……エルサーマツ
WSP-Tシリーズ

型 名……

- | | |
|---------------|-------------|
| ●WSP-200TFJ | ●WSP-208TFF |
| ●WSP-300TFJ | ●WSP-308TFF |
| ●WSP-400TFJ | ●WSP-408TFF |
| ●WSP-500TFJ | ●WSP-508TFF |
| ●WSP-600TFJ | ●WSP-608TFF |
| ●WSP-700TFJ | ●WSP-708TFF |
| ●WSP-210TFF | ●WSP-222TFF |
| ●WSP-310TFF | ●WSP-322TFF |
| ●WSP-410TFF | ●WSP-422TFF |
| ●WSP-510TFF | ●WSP-522TFF |
| ●WSP-610TFF | ●WSP-622TFF |
| ●WSP-710TFF | ●WSP-722TFF |
| ●WSP-200TFJ/T | |
| ●WSP-300TFJ/T | |
| ●WSP-400TFJ/T | |
| ●WSP-500TFJ/T | |
| ●WSP-600TFJ/T | |
| ●WSP-700TFJ/T | |



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1.安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。
- WSP-10TFFシリーズは、北陸電力管内専用の商品です。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえと機器の特長	3
2-1 各部のなまえ	3
2-2 機器の特長	3
3. 運転のしかた	4
3-1. 現在時刻と通電時間の設定	4
3-2. 蓄熱量の設定	6
3-3. お部屋の暖めかた	7
4. 日常の点検とお手入れ	12
4-1. 暖房シーズン前の準備	12
4-2. 暖房期間中のお掃除	13
4-3. 機器の電池交換	13
5. 故障かな？と思ったら	14
6. 点検及び修理について	15
7. 仕様	16

取付説明書

1. 安全上のご注意	18
2. 各部のなまえ	21
3. 部品の確認	22
4. オプション（別売品）部品	22
5. 標準仕様と配線図	23
5-1. WSP-TFJシリーズ	23
5-2. WSP-08TFFシリーズ	24
5-3. WSP-10TFFシリーズ	25
5-4. WSP-22TFFシリーズ	26
5-5. WSP-TFJ／Tシリーズ	27
6. 機器設置前の準備	28
6-1. 設置場所の確認	28
6-2. 電源配線の確認	28
6-3. 外付けルームサーモ （オプション）の配線	29
7. 機器の設置	30
7-1. 背面固定金具の取り付け	30
7-2. 配線の接続	33
7-3. 機器の固定	34
7-4. 蓄熱体の組み込み	36
7-5. 機器外装の組み付け	38
8. 試運転の手順	42
保証書	45

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造はしないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器を運転中、運転後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっているので触らないでください。また、お子様が近寄らないようにしてください。



機器の上や機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



機器に直接衣類等を置いて乾かしたりしないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。（離隔距離は、壁紙や棚、カーテン等の品質を保証する距離ではありません。）

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル
離隔距離	500mm以上	100mm以上	150mm以上	150mm以上

※カーテン等、全ての繊維類は、機器から150mm以上離してください。

指示



壁固定金具が正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面と床面に固定されていることを確かめてください。



震災等で万が一転倒した場合は、下記の項目を実施の上、日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。

- ①専用ブレーカを「切」（OFF）にしてください。
- ②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
- ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
- ④機器が熱い状態で転倒した場合は、機器の周りから床等に水を流してください。



お子様や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。



注意



禁止



機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。



機器のボタン電池は、「CR2032」以外を入れないでください。また、交換する際は、専用ブレーカが「入」（ON）の状態では作業をしないでください。



機器の隙間から、内部に物を入れないでください。



ファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。



注意



吸気グリルのフィルターを外す場合は、怪我をしないように気を付けてください。



指示



機器をご使用になる前に＜現在時刻＞のずれ、＜通電開始時間＞と＜通電時間＞のずれを必ず確認してください。（P. 4「3-1. 現在時刻と通電時間の設定」参照）



＜現在時刻＞が点滅している場合は、必ずボタン電池を交換（P. 13「4-3. 機器の電池交換」参照）し、＜現在時刻＞を確認してください。（P. 3「2-1. 各部のなまえ」参照）



蓄熱時間中は、翌日の蓄熱量が不足する可能性があるので、できるだけファンを停止してください。



機器を使用した場合、暖房の熱等で家具や、棚等の木質系素材が反る、割れる、変形する可能性があります。機器周辺には乾燥、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。



機器を使用した場合、熱により周囲が変色する可能性があります。機器周辺には、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。



吸気グリルにはフィルターが取り付けられています。フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。



機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。



機器に異常が発生した場合は、ファンを停止し、専用ブレーカを「切」（OFF）にして日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。



機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

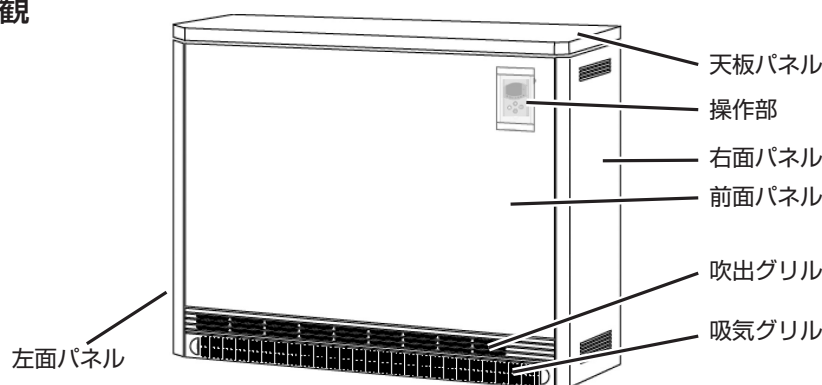


機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル（株）にご相談ください。

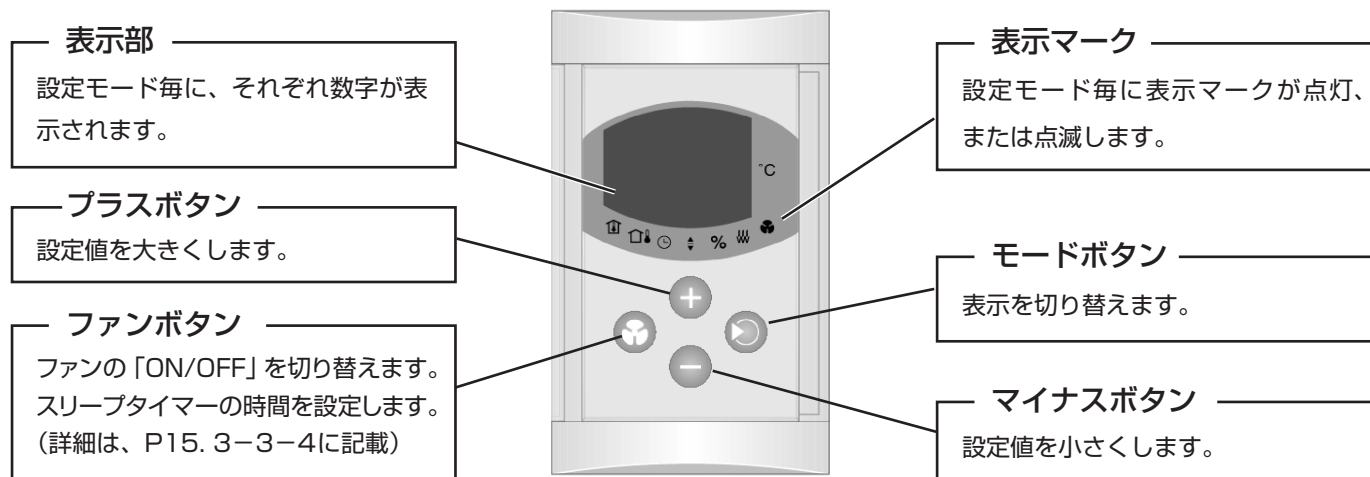
2. 各部のなまえと機器の特長

2-1. 各部のなまえ

2-1-1. 機器外観



2-1-2. 機器操作部詳細



表示マーク	ディスプレイ内容	表示マーク	ディスプレイ内容
	室温 点灯時は、＜現在室温＞／＜設定室温＞を表示します。	%	蓄熱量 点灯時は、＜現在蓄熱量＞／＜設定蓄熱量＞を表示します。
	外気温度 ＜ － － ＞を表示します。		通電表示 点灯時は、ヒーターに通電していることを示します。(点滅時は、追焚き運転中)。
	時刻 点灯時は＜現在時刻＞を表示します。		ファン 点灯時は、ファンが「ON」であることを示します。
	設定表示 点灯時は同時に点灯している表示マークの値を「プラス／マイナス」ボタンで設定できます。	℃	温度 点灯時は、温度を表示していることを示します。

2-2. 機器の特長

蓄熱式電気暖房器WS P-Tシリーズ（本文中では、「機器」と表記）は、電気代が割安な時間帯の間に内部の蓄熱体に熱を蓄え、それ以外の時間帯は、蓄えた熱を放熱することにより部屋全体を暖める機器です。火を使わないので、水蒸気が発生せず結露や灯油臭等がありません。アレルギーの原因となるカビや、ダニの発生を抑え、家にも人にも優しい暖かさを提供します。

主に機器からの自然放熱でお部屋を暖めますが、機器下部にある独自の静音設計のクロスフローファンによる送風により放熱を促進させることができます。

3. 運転のしかた

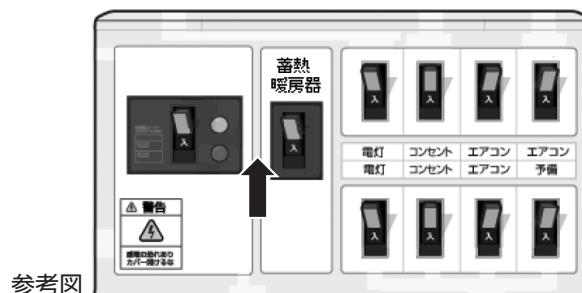
3-1. 現在時刻と通電時間の設定

3-1-1. 現在時刻の設定

①機器のブレーカを「入」(ON)にします。

②ディスプレイに表示が点灯することを確認します。

③操作部の「モードボタン」を押して、「時刻」を点灯させます。



④操作部の「モードボタン」を5秒間押し続けて、「時刻」と「設定表示」を点灯させます。

MEMO

○「モードボタン」を押した際に表示が切り替わりますが、そのまま「モードボタン」を押し続けてください。途中で「モードボタン」を離すと右図の状態に切り替わりません。



⑤「時刻」と「設定表示」が点灯している間に「プラスボタン」、または「マイナスボタン」で<現在時刻>を設定します。

MEMO

○<現在時刻>は1分単位で増減します。ボタンを長押しすると、増減スピードが速くなります。

【重要】

○<現在時刻>がずれていると、電気代が高くなる場合があります。必ず<現在時刻>を日本標準時に合わせてください。



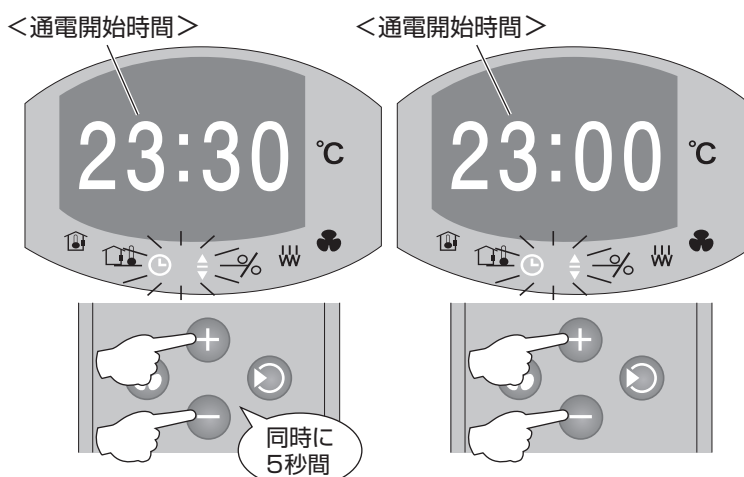
3-1-2. 通電時間の設定

①お客様の電気のご契約から電気代の安い時間帯を確認します。

②「モードボタン」を押して「時刻」を点灯させます。

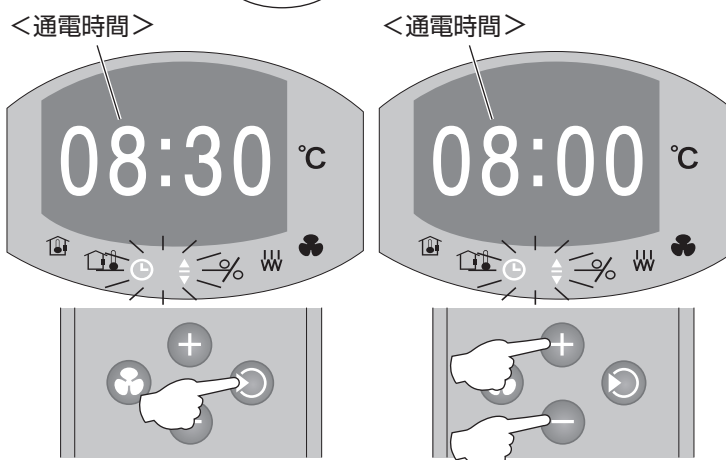


③「時刻」が点灯している状態で、「プラスボタン」と「マイナスボタン」を同時に5秒間押し続けて、「時刻」と「設定表示」を点灯させます。



④「時刻」と「設定表示」が点灯している間に、「プラスボタン」、または「マイナスボタン」で、<通電開始時間>を変更します。

⑤④の状態から「モードボタン」を押して、<現在時刻>が点滅し、「設定表示」が点灯する状態にします。



⑥<現在時刻>が点滅し、「設定表示」が点灯している間に、「プラスボタン」、または「マイナスボタン」で<通電時間>を変更します。

MEMO

- <通電時間>は、ヒーターに通電する時間の長さの設定です。通電を終了する時間ではありません。
- <現在時刻>と間違えて設定しないように注意してください。

例) 通電開始時間を23:00、通電時間を08:00に設定した場合



【重要】

- 電気のご契約を確認の上、<通電開始時間>と<通電時間>を、電気代の安い時間帯に設定してください。この設定を行なわないと電気代が高くなる可能性があります。
- <通電時間>を8時間未満に設定した場合は、通電終了時に<設定蓄熱量>まで蓄熱できない場合があります。

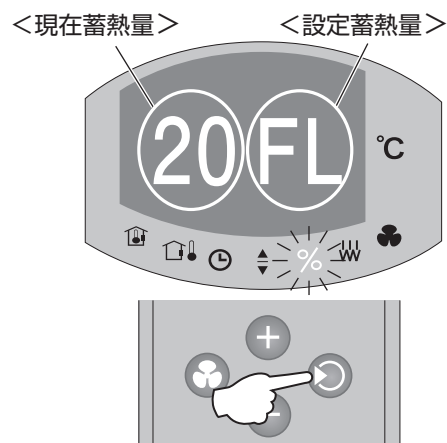
3-2. 蓄熱量の設定

3-2-1. 表示の見かた

4桁の表示のうち、左側の2桁は、＜現在蓄熱量＞、右側の2桁は、＜設定蓄熱量＞を示します。

＜現在蓄熱量＞と、＜設定蓄熱量＞がともに100%の場合は、「FULL」と表示されます

＜設定蓄熱量＞のみが100%の場合は、「〇〇FL」と表示されます。

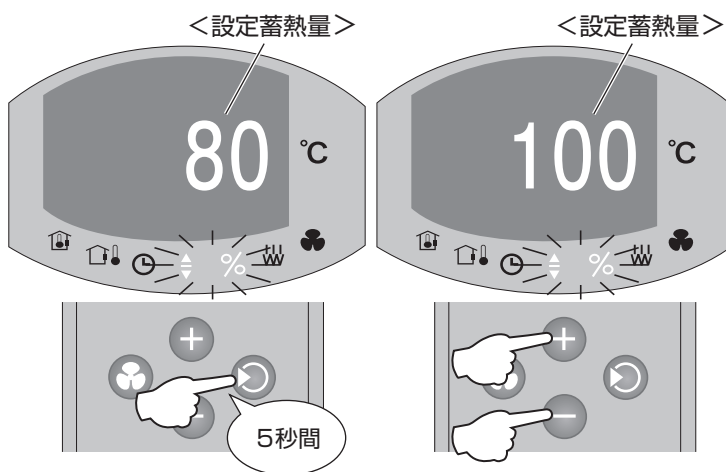


3-2-2. 操作部で設定する場合

翌日の外気温度の予報が低い場合は、＜設定蓄熱量＞を多くし、翌日の外気温度が高い予報の場合は、＜設定蓄熱量＞を少なくして使用します。

(1) 蓄熱量の設定のしかた

- ①「モードボタン」を押して、「蓄熱量」を点灯させます。
- ②「モードボタン」を5秒間押し続けて、「蓄熱量」と「設定表示」を点灯させます



MEMO

○「モードボタン」を押した際に表示が切り替わりますが、そのまま「モードボタン」を押し続けてください。途中で「モードボタン」を離すと、右図の状態に切り替わりません。

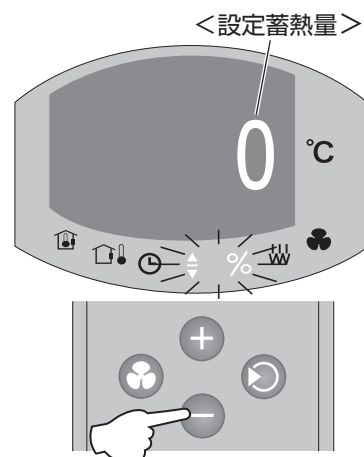
- ③「蓄熱量」と「設定表示」が点灯している間に、「プラスボタン」、または「マイナスボタン」を押して、＜設定蓄熱量＞を10%単位で変更します。

(2) 使用を停止する場合

- ①使用を停止する場合は、「マイナスボタン」を押して、＜設定蓄熱量＞を0%にします。
- ②専用ブレーカを「切」(OFF) にします。

MEMO

○長期間使用を停止する場合は、必ず専用ブレーカを「切」(OFF) にします。



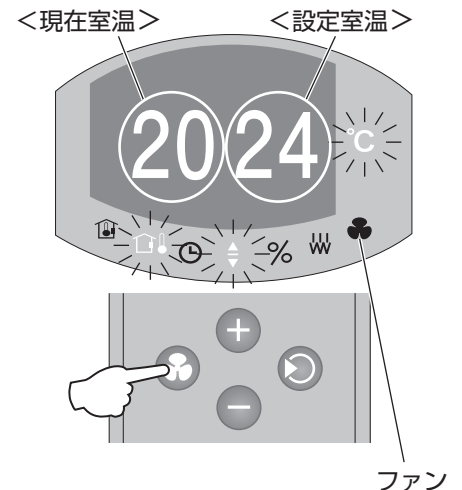
3-3. お部屋の暖めかた

3-3-1. 事前にすべきこと

- ①前日に＜設定蓄熱量＞を、P.6「3-2.蓄熱量の設定」を参照して設定します。
- ②操作部の「ファンボタン」、「ファン」を消灯します。

MEMO

- ＜蓄熱開始時間＞以降にファンが動作し続けると、＜通電時間＞終了までに蓄熱量が＜設定蓄熱量＞に達しない場合があります。この蓄熱時間帯は、できるだけファンを停止してご利用ください。



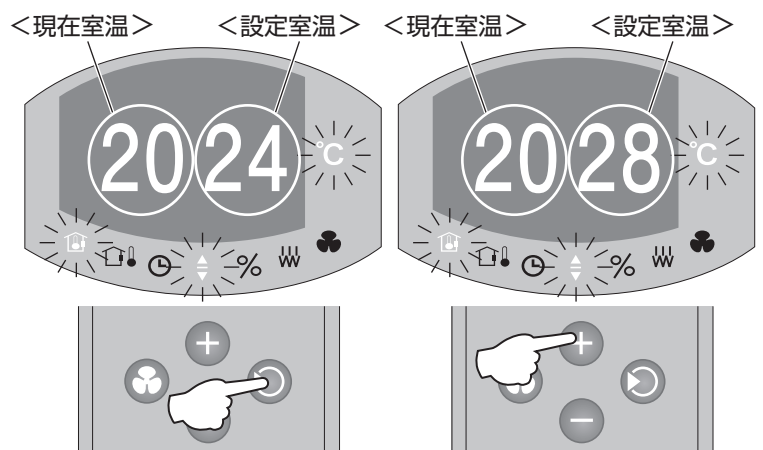
3-3-2. 蓄熱した熱だけで十分に暖かい場合

- ①ファンを回さずに、機器の自然放熱のみでお過ごしいただけます。

3-3-3. 蓄熱した熱だけではもの足りない場合

(1) 操作部で操作する場合

- ①「モードボタン」を押して「室温」と「設定表示」を点灯させます。
- ②「プラスボタン」を押して、＜設定室温＞を＜現在室温＞より高い温度にします。

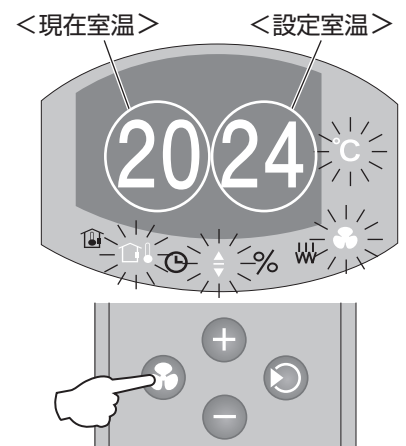


- ③「ファンボタン」を押して「ファン」を点灯させます。

MEMO

- 「ファンボタン」は、どの表示が点灯している場合に押しても同様に働きます。

- ④再度「ファンボタン」を押すと「ファン」が消灯し、ファンが停止します。

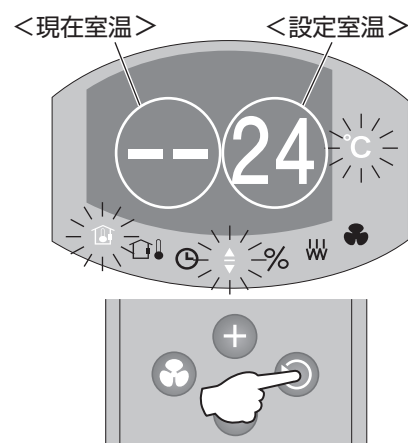


MEMO

- 「ファン」が点灯していても、＜設定室温＞が＜現在室温＞より低い場合は、ファンは動作しません。
○外出時は、必ず「ファン」が消灯している状態にしてください。

(2) 外付けルームサーモRTA-SUP (オプション：以下では外付けルームサーモと表記) を使用している場合

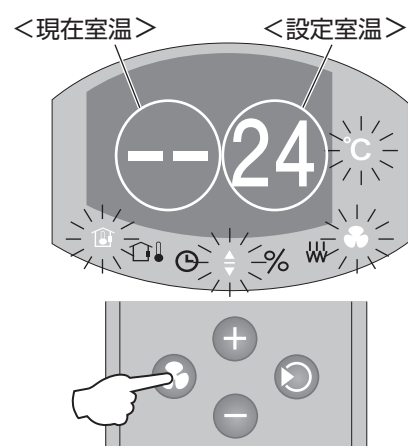
- ①操作部の「モードボタン」を押して、「室温」と「設定表示」を点灯させ、
 <現在室温>が<-->表示になっていることを確認します。



- ②操作部の「ファンボタン」を押して「ファン」を点灯させます。

MEMO

- 「ファン」が点灯していない状態では、外付けルームサーモでファンを操作することはできません。



- ③外付けルームサーモの「室温設定ダイヤル」を任意の温度に設定します。

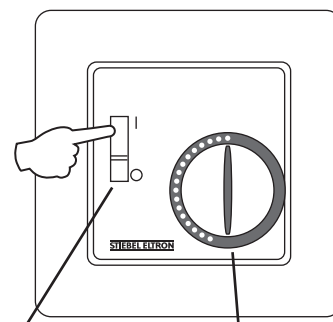
室温設定ダイヤルの表示	*	2	3	4	5	6
設定室温 (°C)	5	10	15	20	25	30

MEMO

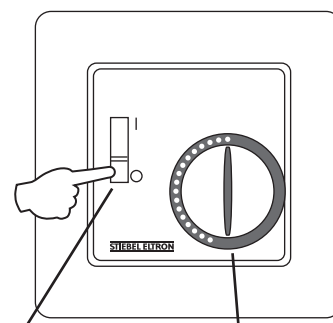
- 上記表の設定室温は、あくまでも目安です。室内がこの温度になることを保証するものではありません。

- ④外付けルームサーモの「ON / OFFスイッチ」の「I」側を押すと、「ファン」が動作します。

- ⑤再度、外付けルームサーモの「ON / OFFスイッチ」の「O」側を押すと、「ファン」が停止します。



ON/OFFスイッチ 室温設定ダイヤル

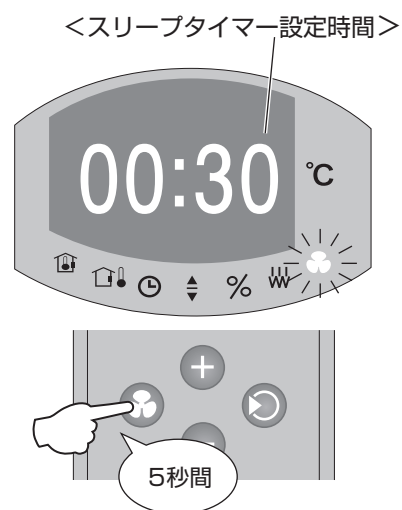


ON/OFFスイッチ 室温設定ダイヤル

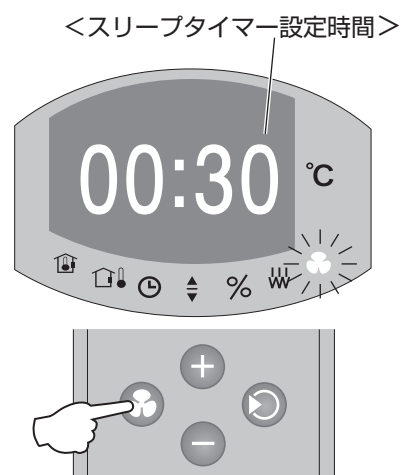
3-3-4. スリープタイマー機能を使用する場合

ファンを一定時間運転後、自動的に停止したいときに使います。

- ①操作部の「ファンボタン」を5秒間押し続けることで、「ファン」が点灯しディスプレイに＜スリープタイマーの設定時間＞が表示されます。

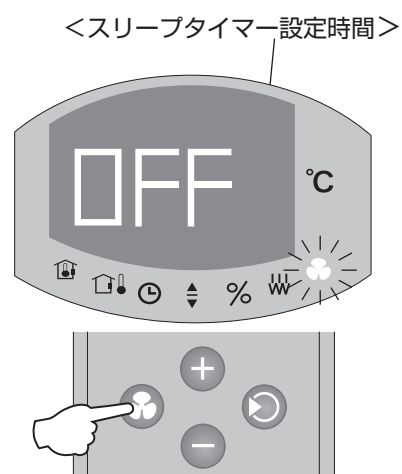


- ②操作部の「ファンボタン」を押して、ファンを動かす時間（30分・1時間・2時間・・・）を選択します。



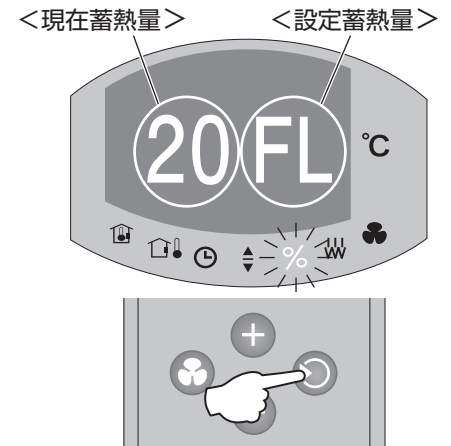
- ③ディスプレイに表示されている時間、「ファン」が点灯し、ファンを動作させてお部屋を暖めます。

- ④途中停止する場合は「OFF」と表示されるまで、操作部の「ファンボタン」を押します。

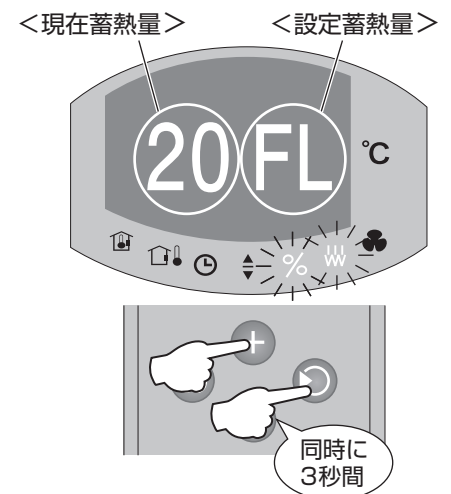


3-3-5. 蓄熱量が不足した場合

- ①操作部の「モードボタン」を押して「蓄熱量」を点灯させ、＜設定蓄熱量＞が＜現在蓄熱量＞より大きいことを確認します。

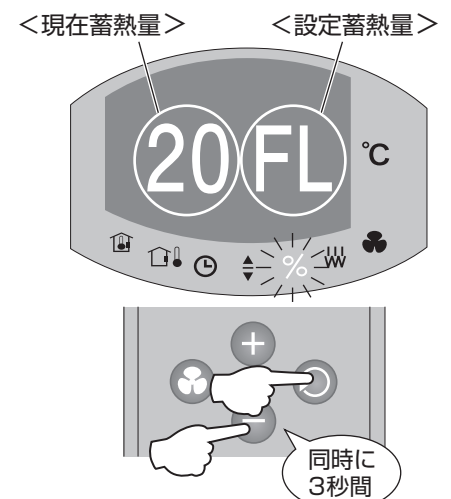


- ②操作部の「モードボタン」と「プラスボタン」を同時に3秒間押して、「通電表示」を点滅させ追焚きを開始します。



- ③＜設定蓄熱量＞と＜現在蓄熱量＞が同じ蓄熱量に達するか、＜通電開始時間＞を過ぎると追焚きが終了します。

- ④途中で追焚きを終了させたい場合は、操作部の「モードボタン」と「マイナスボタン」を同時に3秒間押して、「通電表示」を消灯させます。



【重要】

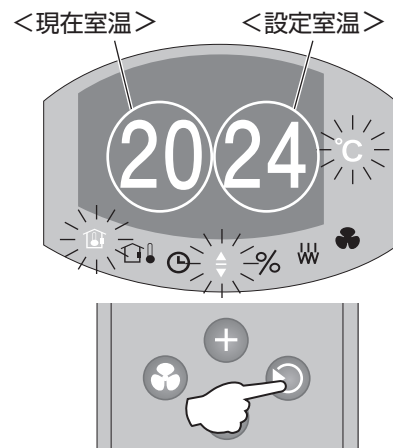
- 電気代が高い時間帯に追焚きすると、電気代が高くなる可能性があります。

MEMO

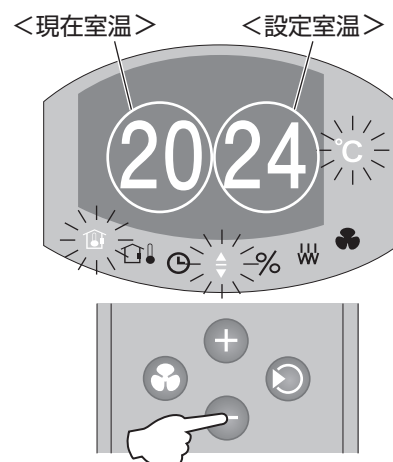
- できるだけ追焚きをせずに済むように、前日に適切な蓄熱量を設定してください。

3-3-6. お部屋が暖まり過ぎた場合

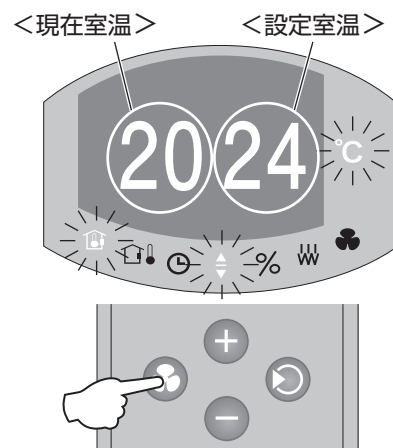
①操作部の「モードボタン」を押して「室温」と「設定表示」を点灯させます。



②操作部の「マイナスボタン」を押して、＜設定室温＞を＜現在室温＞より低い温度にします。



③②の状態でも暖まり過ぎる場合は、操作部の「ファンボタン」を押して、「ファン」を消灯します。



④③の状態でもお部屋が暖まり過ぎる場合は、他のお部屋との間のドア、または窓を開けてください。

MEMO

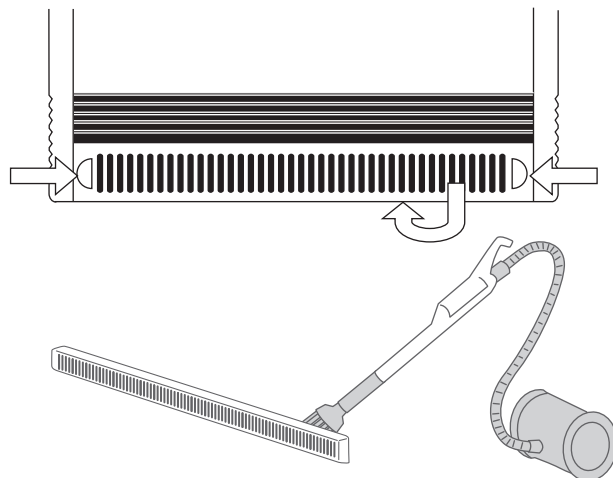
○蓄熱式電気暖房器は、蓄熱した熱の自然放熱を止めることはできないため、前日に翌日の天気予報を確認して前日のうちに適切な蓄熱量を設定する必要があります。

4. 日常の点検とお手入れ

4-1. 暖房シーズン前の準備

(1) 吸気グリルの清掃

- ①吸気グリル正面左右の溝に指を掛けます。
- ②吸気グリルの下側を手前に引いて外します。
- ③吸気グリルの上側を手前に引き、機器から外します。
- ④吸気グリルのフィルターを外して、吸気グリル、フィルターそれぞれを掃除機で清掃します。

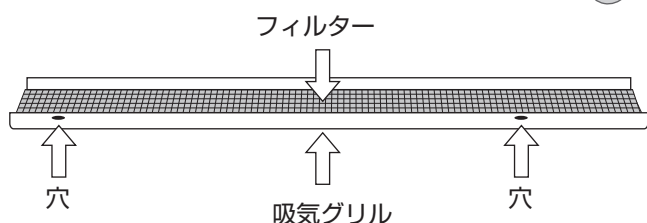


MEMO

- 両手が届かない場合は、左右分けて外します。

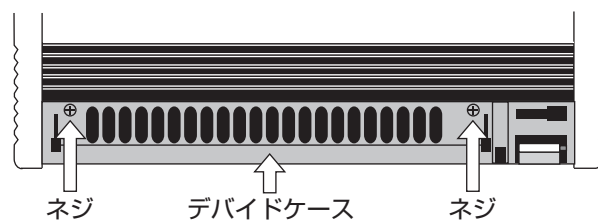
(2) 吸気グリルを固定します。

- ①吸気グリルの内側にフィルターを入れます。



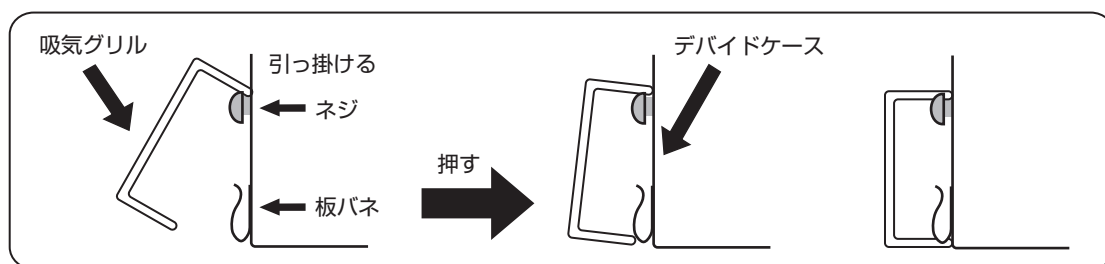
上方内側から見た図

- ②デバイドケースのネジに、吸気グリルの上側の左右2ヶ所の穴を引掛けます。



正面から見た図

- ③吸気グリルの下端を機器下部の板バネに押し付けて固定します。



右側方から見た図

(3) <現在時刻>、<通電開始時間>、<通電時間>の確認

- ①P.4「3-1. 現在時刻と通電時間の設定」を参照して、<現在時刻>が日本の標準時とあっているか確認します。
- ②P.4「3-1. 現在時刻と通電時間の設定」を参照して、<通電開始時間>と<通電時間>が電気代の割安な時間帯に設定されていることを確認します。

【重要】

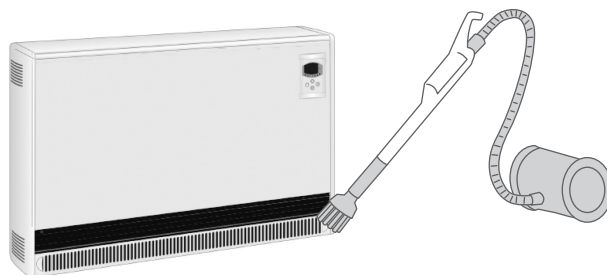
- <現在時刻>、<通電開始時間>、<通電時間>がずれていることによる電気代の増加分は保証しておりません。
必ずお客様ご自身で、機器をご使用になる前にご確認ください。

4-2. 暖房期間中のお掃除

- ① 4-1 項 (1) (2) に従い吸気グリルを外して、掃除機でほこりを吸い取ってください。

MEMO

- 暖房期間中に吸気グリルとフィルターを清掃する場合は、吸気グリルの温度が下がっていることを確認してください。
- 蓄熱している状態で、吸気グリルをつけたまま掃除機で清掃すると、掃除機が熱で破損する可能性があります。

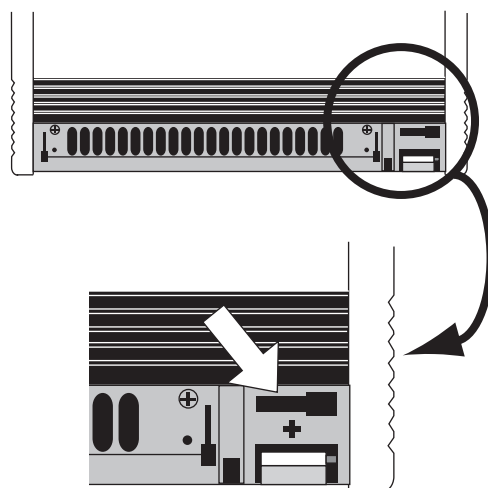


4-3. 機器の電池交換

表示部で<現在時刻>が点滅している場合は、専用ブレーカを「切」(OFF) にして、下記の方法でボタン電池を交換してください。

MEMO

- 事前に、市販の「CR2032」ボタン電池 1 個をご用意ください。
- ① 4-1 項 (1) に従い吸気グリルを外します。
- ② 右図の矢印の位置に設置してある「CR2032」ボタン電池を引き抜きます。
- ③ 新しい「CR2032」ボタン電池を、「+」が上側になるように設置します。
- ④ 4-1 項 (2) に従い吸気グリルを固定します。



5. 故障かな?と思ったら

下記の現象が見られる場合、はじめに専用ブレーカを「切」(OFF)にし、再度専用ブレーカを「入」(ON)にし、確認項目について処置内容を実施してください。

現 象	確認項目	処置内容	参照ページ
機器が温まらない。	機器の電源ブレーカの「入」(ON)「切」(OFF)	専用ブレーカをすべて「入」(ON)にしてください。 ＜現在時刻＞	_____
	＜設定蓄熱量＞	＜設定蓄熱量＞を変更してください。	P6. 3-2
	＜通電時間＞	＜通電時間＞が短い場合は長くしてください。	P4. 3-1
	機器の離隔	機器の離隔距離内に物を置かないでください。	P1. 1
ファンが回らない。	「ファン」表示	操作部の「ファンボタン」を押して、「ファン」の表示マークを消灯してください。	P7. 3-3
	＜設定室温＞	＜設定室温＞を＜現在室温＞より高くしてください。	P7. 3-3
	吸気グリル	吸気グリルを清掃してください。	P12. 4
	機器の離隔	機器の離隔距離内に物を置かないでください。	P1. 1
ファンが止まらない。	「ファン」表示	操作部の「ファンボタン」を押して、「ファン」の表示マークを消灯してください。	P3. 2-1
深夜時間以外に蓄熱する。	＜現在時刻＞	＜現在時刻＞日本標準時に合わせてください。	P4. 3-1
	＜通電開始時間＞	＜通電開始時間＞を合わせてください。	P4. 3-1
	＜通電時間＞	＜通電時間＞を合わせてください。	P4. 3-1
専用ブレーカが落ちる。	_____	日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。	P15. 6
機器が熱過ぎる。	＜通電開始時間＞	＜通電開始時間＞を合わせてください。	P4. 3-1
	＜通電時間＞	＜通電時間＞を合わせてください。	P4. 3-1
	機器の離隔	機器の離隔距離内に物を置かないでください。	P1. 1

上記の処置後も現象が改善されない場合は、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。(P15.「6.点検及び修理について」参照)

次の場合は故障ではありません。

現 象	原 因	参照ページ
＜現在時刻＞が点滅する。	機器のボタン電池が切れかかっています。市販のCR2032電池を購入し、交換してください。	P13. 4-3
蓄熱時に機器から音がする。	ヒーターがON/OFFする時にはリレーの動作音が発生しますが、異常ではありません。	_____
蓄熱、または放熱時に機器から音がする。	熱の影響による機器の熱膨張、または収縮による音で、異常ではありません。	_____
初期の運転時に臭いがする。	断熱材や蓄熱体、ヒーターに付着した成分等の臭いです。臭いがなくなるまで、お部屋を十分に換気してください。	_____
午後(夕方)になると吹出空気が暖かくない。	＜通電時間＞中にファンを回した場合や、＜設定蓄熱量＞が低すぎた場合に起こります。	_____
機器からときどき「カチッ」と音がする。	機器内部の部品が動作している音で、異常ではありません。	_____
ファンの風量が少なく感じる。	＜現在室温＞を最適にするための自動制御が働いている場合は、風量が少なくなります。	_____
機器が通常よりも熱い気がする。	外気温や設置状況により、表面温度に変化が出ることがあります。	_____
＜現在時刻＞が合っているが、＜通電開始時間＞になっても蓄熱されない。	マイコン制御により、＜通電開始時間＞直後には蓄熱を開始しないことがあります。	_____
蓄熱中以外に、ファンを運転すると＜現在蓄熱量＞が増減する。	ファンを運転すると機器内部の熱が循環することにより、＜現在蓄熱量＞の表示が増加や減少することがあります。	_____

6. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、P.14「5.故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。

TEL : 044-540-3203

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①型 名 : 銘板ラベルに記載
- ②製造番号 : 銘板ラベルに記載
- ③不具合の内容 : 蓄熱しない等の症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日
- ⑤お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取り付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取り付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

<現在時刻>、<通電開始時間>、<通電時間>がずれていることによる電気代の増加分は保証しておりません。必ずお客様ご自身で、機器をご使用になる前にご確認ください。



- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象となりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

7. 仕様

型 名		200TFJ 208TFF 210TEF 222TFF 200TFJ/T	300TFJ 308TFF 310TFF 322TFF 300TFJ/T	400TFJ 408TFF 410TFF 422TFF 400TFJ/T	500TFJ 508TFF 510TFF 522TFF 500TFJ/T	600TFJ 608TFF 610TFF 622TFF 600TFJ/T	700TFJ 708TFF 710TFF 722TFF 700TFJ/T
ヒーター 定格	電 圧	単相／三相 200V					
	周 波 数	50 / 60Hz					
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	6	7
ファン 定格	電 圧	単相 200V					
	周 波 数	50 / 60Hz					
	消費電力 (W)	8	10	16	18	20	26
	台 数	1	1	2	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34	34
制御 定格	電 圧	TFJ、TFFシリーズ：単相 200V TFJ / Tシリーズ：単相 100V					
	周 波 数	50 / 60Hz					
	消費電力	TFJ、TFFシリーズ：2W TFJ / Tシリーズ：60W (トランス容量)					
最大蓄熱量 (kWh)		17.0	25.5	35.0	42.0	51.0	61.5
有効蓄熱量 (kWh)		14.3	21.6	28.7	36.0	43.3	50.1
外形 寸法	幅 (mm)	605	780	955	1130	1305	1480
	高さ (mm)	650					
	奥行 (mm)	245					
総質量 (kg)		118	169	220	271	322	378
蓄熱体質量 (kg)		86	129	172	215	258	301
蓄熱 体	梱 包 数	6	9	12	15	18	21
	蓄熱体数	12	18	24	30	36	42
主要 部品	ヒーター	高耐熱ステンレスシースヒーター					
	蓄 熱 体	フェオライト					
	蓄熱センサー	白金測温抵抗体					
	室温センサー	サーミスターセンサー					
	過熱防止器	主回路遮断バイメタル式過熱防止器					
	電子基板	200V					
蓄熱異常防止器		バイメタル式					
放熱異常防止器		バイメタル式					
転倒時回路遮断		転倒時回路遮断器 (耐震センサー：傾斜60° 以上で全回路遮断)					
オプション 部品 (別売品)	外付 ルームサーモ	RTA-S UP サーマルフィードバック付バイメタル式ルームサーモ					
	吹出口ガード	アルミ製 乳幼児の指等の挿入防止					
	レベルアジャスター	暖房器下部に設置し、機器を床面より高い位置に固定					

WSP-Tシリーズ 取付説明書

品 名……エルサーマット
WSP-Tシリーズ

型 名……

- | | |
|---------------|-------------|
| ●WSP-200TFJ | ●WSP-208TFF |
| ●WSP-300TFJ | ●WSP-308TFF |
| ●WSP-400TFJ | ●WSP-408TFF |
| ●WSP-500TFJ | ●WSP-508TFF |
| ●WSP-600TFJ | ●WSP-608TFF |
| ●WSP-700TFJ | ●WSP-708TFF |
| ●WSP-210TFF | ●WSP-222TFF |
| ●WSP-310TFF | ●WSP-322TFF |
| ●WSP-410TFF | ●WSP-422TFF |
| ●WSP-510TFF | ●WSP-522TFF |
| ●WSP-610TFF | ●WSP-622TFF |
| ●WSP-710TFF | ●WSP-722TFF |
| ●WSP-200TFJ/T | |
| ●WSP-300TFJ/T | |
| ●WSP-400TFJ/T | |
| ●WSP-500TFJ/T | |
| ●WSP-600TFJ/T | |
| ●WSP-700TFJ/T | |

取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP18.「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。
- 別紙、保証書（写）に必要な事項を記入の上、必ず保管してください。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造はしないでください。



付属の電源ケーブルを外さないでください。



取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。



200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。



100Vの電源ケーブルに200Vの屋内配線を接続しないでください。（WSP-TFJ/Tシリーズのみ）



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。



屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器を試運転中、試運転直後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっているので触らないでください。



機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



他の機器と隣接させないでください。



畳、じゅうたん、クッションフロア等の上には絶対に設置しないでください。



全ての端子台のネジは必ず増締めし、増締めを行なわないまま、引き渡さないでください。

⚠ 注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



電源ケーブルを機器内部で弛ませないでください。

❗ 指示



アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。



専用の漏電ブレーカを必ず設置してください。



電圧は定格電圧の $\pm 10\%$ 以内であることを確認してください。



屋内配線は、電源仕様、定格電流、及び消費電力を左面パネル下部の銘板ラベルで確認して、必ず内線規程に従って配線を行なってください。



ジョイントボックスは、機器の右面パネルから50mm以上離して設置してください。



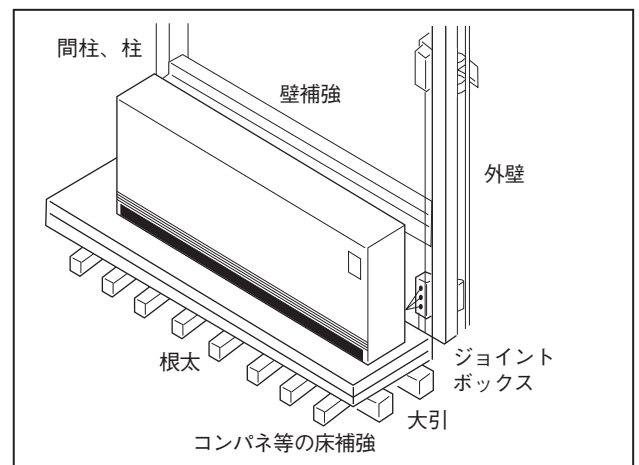
端子台の配線と右面パネル裏の結線図ラベルの配線が一致していることを確認してください。



コネクタ類が抜けたり、緩んだりしていないことを確認してください。



機器は、適切な壁補強、並びに床補強がされた、壁面と床面に固定してください。

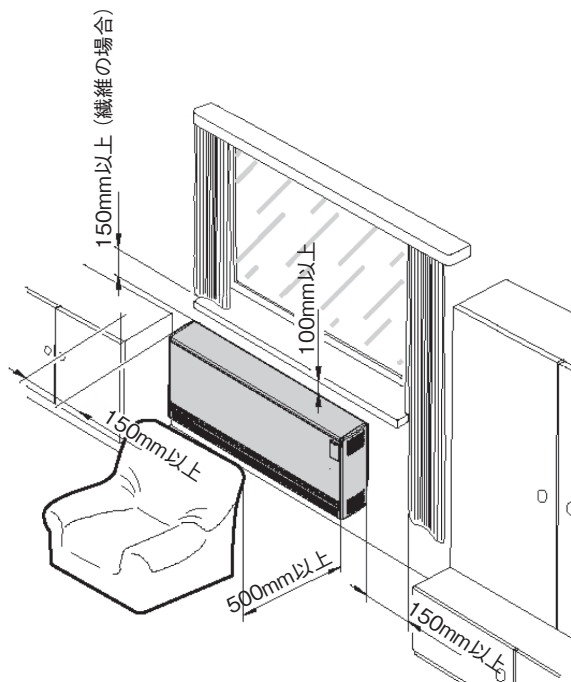


❗ 機器を正常に動作させるために離隔距離を守ってご使用ください。

設 置	離隔距離	備 考
前面	500mm以上	暖房機能確保のため
左面	150mm以上	メンテナンススペース確保のため
右面	150mm以上	メンテナンススペース確保のため
天板	100mm以上	本体温度が高くなるため

※カーテン等、全ての繊維は、機器から150mm以上離してください。

❗ 設置地域の火災予防条例に即した離隔距離をとってください。



⚠ 注意

🚫 禁止

- ❌ 設置前の機器や蓄熱体は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かないでください。
- ❌ 機器の天板パネルの上に物を置いたり、寝転がったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
- ❌ 機器のボタン電池は、「CR2032」以外を入れないでください。また、交換する際は、機器の専用ブレーカが「入」(ON)の状態では作業をしないでください

⚠ 注意

⚠ 機器のパネルやグリル等を外す場合は、怪我をしないように気を付けてください。

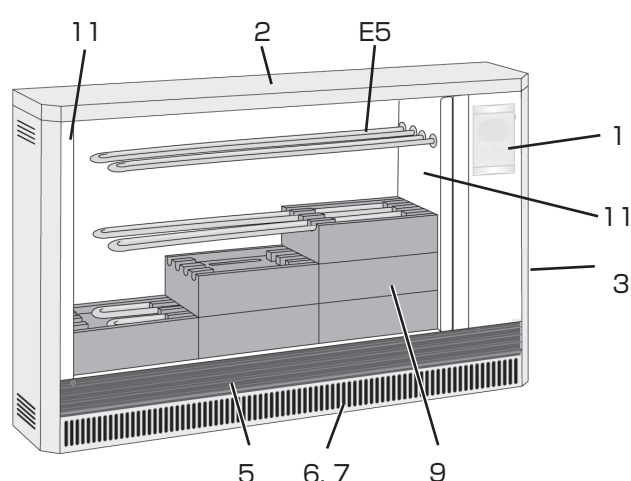
⚠ 蓄熱体は、落としたりしないよう両手で持って運んでください。

❗ 指示

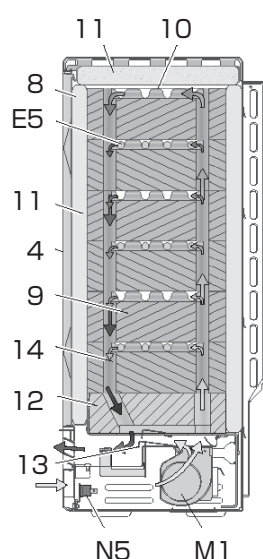
- ❗ 試運転の際に、＜現在時刻＞、＜通電開始時間＞、＜通電時間＞をお客様の電気契約に適した設定にしてください。(P.4「3-1. 現在時刻と通電時間の設定」参照)
- ❗ ＜現在時刻＞が点滅している場合は、必ずボタン電池を交換し、＜現在時刻＞を確認してください。(P.12「4.日常の点検とお手入れ」参照)
- ❗ 仕上材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。
- ❗ 棚下等に設置した場合は、棚板等の含水量や空気の乾燥度によって反る場合があります。正しい離隔が保たれていても、板等の反りや割れについて保証しておりません。
- ❗ 壁紙、床材等は、熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。

- ❗ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。
- ❗ 検査記録表（P. 45「8. 試運転の手順」）に試運転時の検査記録を必ず記入してください。
- ❗ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取り扱い店、お取り付け日、製造番号等の必須事項を記入し、お取り扱い店、及び取扱責任者印を捺印してください。
- ❗ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ❗ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。

2. 各部のなまえ



- 1 : 操作部
- 2 : 天板パネル
- 3 : 右面パネル
- 4 : 前面パネル
- 5 : 吹出グリル
- 6 : 吸気グリル
- 7 : フィルター
- 8 : バッフル板
- 9 : 蓄熱体



- 10 : 対流板
- 11 : マイクロサーム
- 12 : サーモソリッド
- 13 : ダブルエアダンパー
- 14 : ダブルエアダクト
- E5 : ヒーターエレメント
- M1 : クロスフローファン
- N5 : 放熱異常バイメタル

3. 部品の確認

●次の部品があることを確かめてください。

部品名	同梱場所	部品名	同梱場所
機器本体	――	整流板	機器背面
蓄熱体	別梱包	背面固定金具	機器背面
取扱取付説明書（保証書付）	機器天板パネルの上	対流板	機器内部
吸気グリル&フィルター	機器の上部梱包の上	壁固定金具セット	機器内部

型 名	200TFJ 208TFF 210TEF 222TFF 200TFJ/T	300TFJ 308TFF 310TFF 322TFF 300TFJ/T	400TFJ 408TFF 410TFF 422TFF 400TFJ/T	500TFJ 508TFF 510TFF 522TFF 500TFJ/T	600TFJ 608TFF 610TFF 622TFF 600TFJ/T	700TFJ 708TFF 710TFF 722TFF 700TFJ/T
蓄熱体梱包数 （ ）内は蓄熱体個数	6（12）	9（18）	12（24）	15（30）	18（36）	21（42）
背面固定金具横幅寸法（mm）	530	705	880	1055	1230	1405
背面固定金具ネジ穴数	7	7	8	9	9	10

壁固定金具セット

型 名	200TFJ 208TFF 210TEF 222TFF 200TFJ/T	300TFJ 308TFF 310TFF 322TFF 300TFJ/T	400TFJ 408TFF 410TFF 422TFF 400TFJ/T	500TFJ 508TFF 510TFF 522TFF 500TFJ/T	600TFJ 608TFF 610TFF 622TFF 600TFJ/T	700TFJ 708TFF 710TFF 722TFF 700TFJ/T
背面固定金具固定用ネジと ワッシャー（6×40）	7	7	8	9	9	10
床固定用ネジとワッシャー （6×30）	2	2	2	2	2	2
背面固定金具の蓄熱暖房器 固定用ネジと歯付座金 （M4×8）	4	4	4	4	4	4
背面固定補強金具	1	1	1	1	2	3
背面固定補強金具固定ネジ M5×10W セムスネジ	3	3	3	3	6	9

※機器を保護しているプラスチックシートは清掃の際に使用しますので捨てないでください。

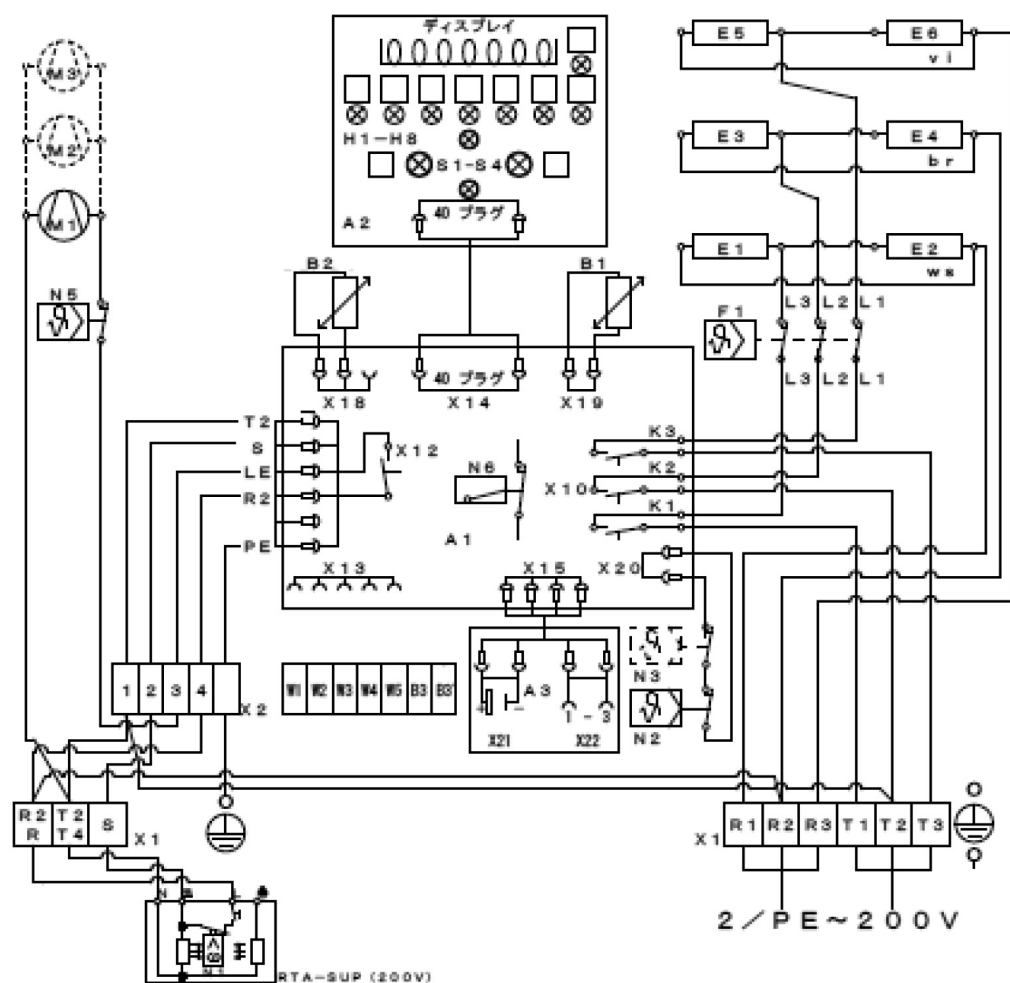
4. オプション（別売品）部品

外付ルームサーモ	RTA-S UP サーマルフィードバック付バイメタル式サーモ
吹出口ガード	アルミ製 乳幼児の指等が吹出グリルから入らないようにします。
レベルアジャスター	機器下部に設置し、機器を床面より高い位置に固定

5. 標準仕様と配線図

5-1. WSP-TFJシリーズ

型 名	WSP-200TFJ	WSP-300TFJ	WSP-400TFJ	WSP-500TFJ	WSP-600TFJ	WSP-700TFJ
通電開始時間	23:00 (初期設定)					
通電時間	8時間 (初期設定)					
ヒーター 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	7
	定格電流 (A)	10	15	20	25	35
ファン 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	8	10	16	18	26
	台 数	1	1	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34
制御 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力	2W				



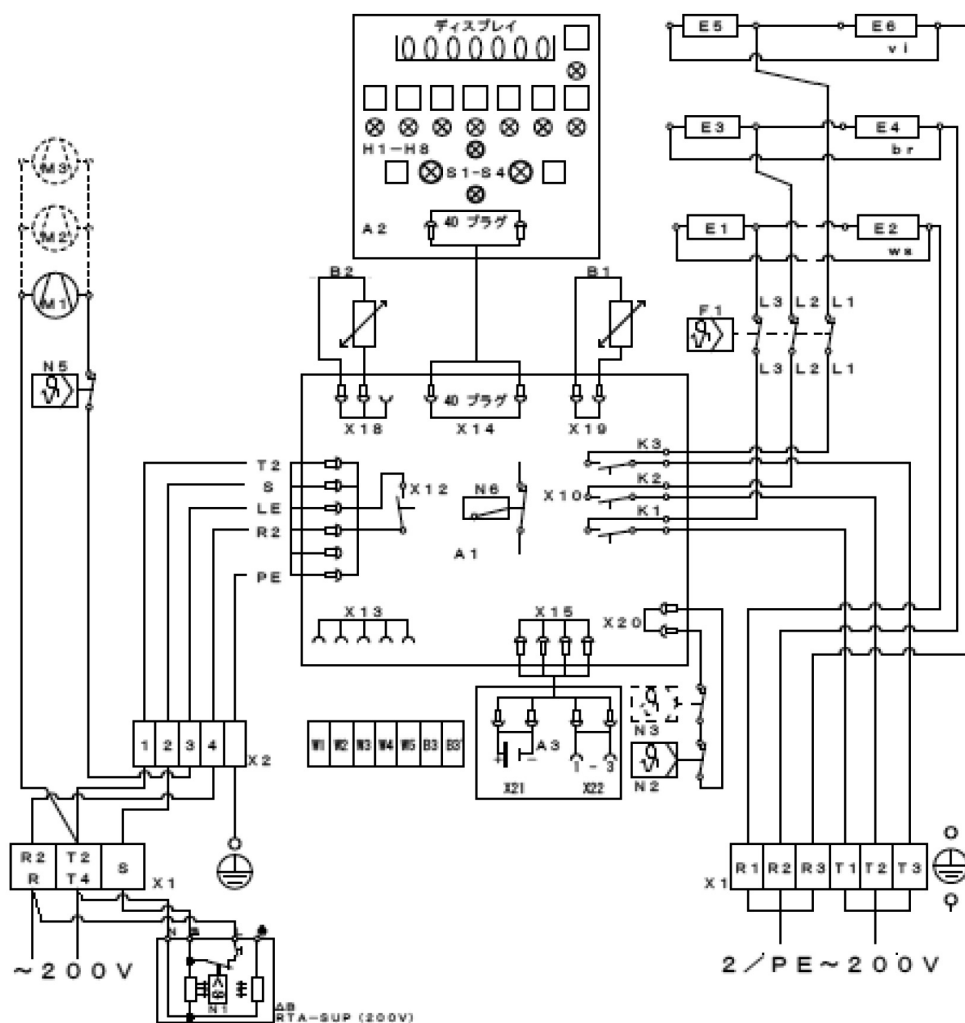
- A 1 : 電子基板
- A 2 : 表示部基板
- A 3 : サービスプラグ
- B 1 : 蓄熱体センサー
- B 2 : 室温センサー
- E 1 - E 6 : ヒーター
- F 1 : 手動復帰式過昇温防止器
- H 1 - H 8 : 表示ランプ
- K 1 - K 3 : リレー
- M 1 - M 3 : ファン
- N 2 : 蓄熱異常バイメタル
- N 3 : 蓄熱異常バイメタル
(6 kW、7 kWのみ)
- N 5 : 放熱異常バイメタル
- X 1 : 主回路端子台
- X 2 : 補助回路端子台

単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルを接続します。

＜通電開始時間＞と＜通電時間＞は、電力契約に合わせて変更します。

5-2. WSP-08TFFシリーズ

型 名	WSP-208TFF	WSP-308TFF	WSP-408TFF	WSP-508TFF	WSP-608TFF	WSP-708TFF
通電開始時間	23:00 (初期設定)					
通電時間	8時間 (初期設定)					
ヒーター 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	7
	定格電流 (A)	10	15	20	25	35
ファン 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	8	10	16	18	26
	台 数	1	1	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34
制御 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力	2W				



- A1 : 電子基板
- A2 : 表示部基板
- A3 : サービスプラグ
- B1 : 蓄熱体センサー
- B2 : 室温センサー
- E1-E6 : ヒーター
- F1 : 手動復帰式過昇温防止器
- H1-H8 : 表示ランプ
- K1-K3 : リレー
- M1-M3 : ファン
- N2 : 蓄熱異常バイメタル
- N3 : 蓄熱異常バイメタル
(6 kW、7 kW)
- N5 : 放熱異常バイメタル
- N6 : 耐震センサー
- X1 : 主回路端子台
- X2 : 補助回路端子台

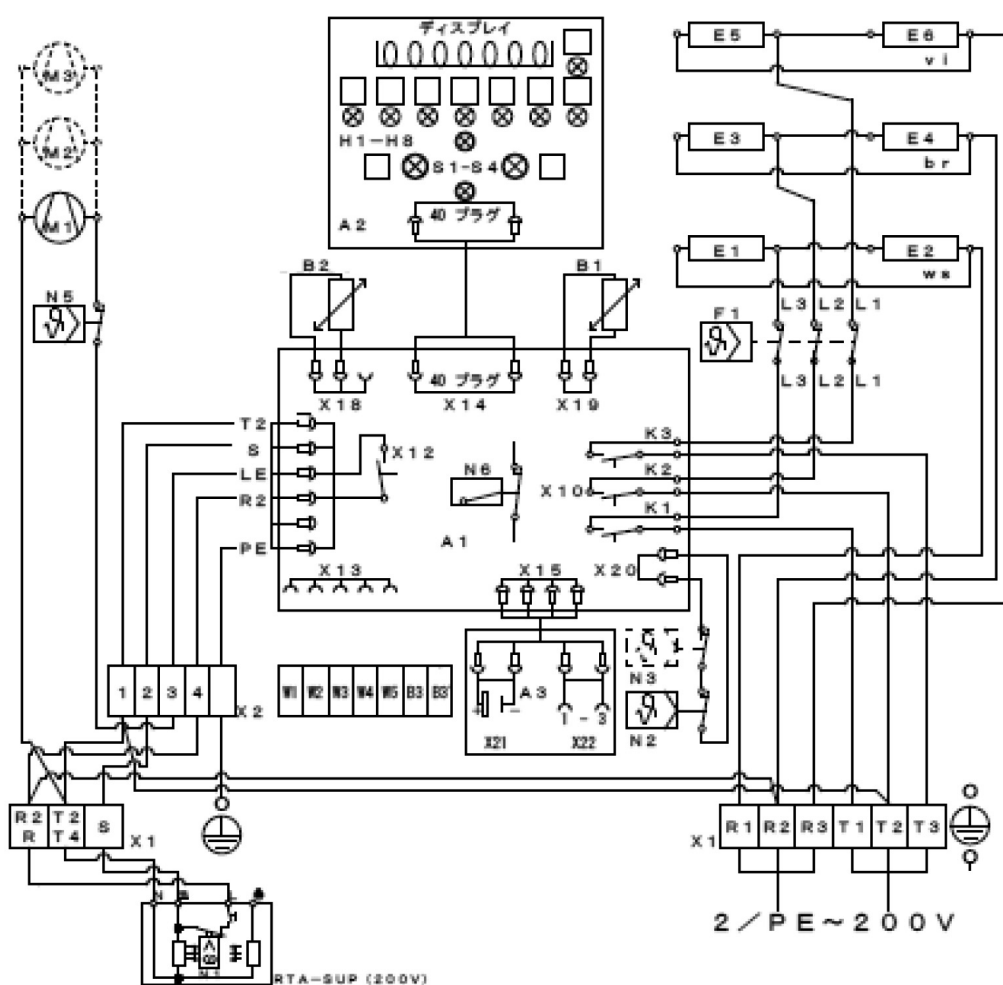
単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルを接続します。

また、単相200V2芯の屋内配線と、機器に接続されている2芯の電源ケーブルを接続します。

<通電開始時間>と<通電時間>は、電力契約に合わせて変更します。

5-3. WSP-10TFFシリーズ

型 名	WSP-210TFF	WSP-310TFF	WSP-410TFF	WSP-510TFF	WSP-610TFF	WSP-710TFF
通電開始時間	22:00 (初期設定)					
通電時間	10時間 (初期設定)					
ヒーター 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	7
	定格電流 (A)	10	15	20	25	35
ファン 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	8	10	16	18	20
	台 数	1	1	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34
制御 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力	2W				



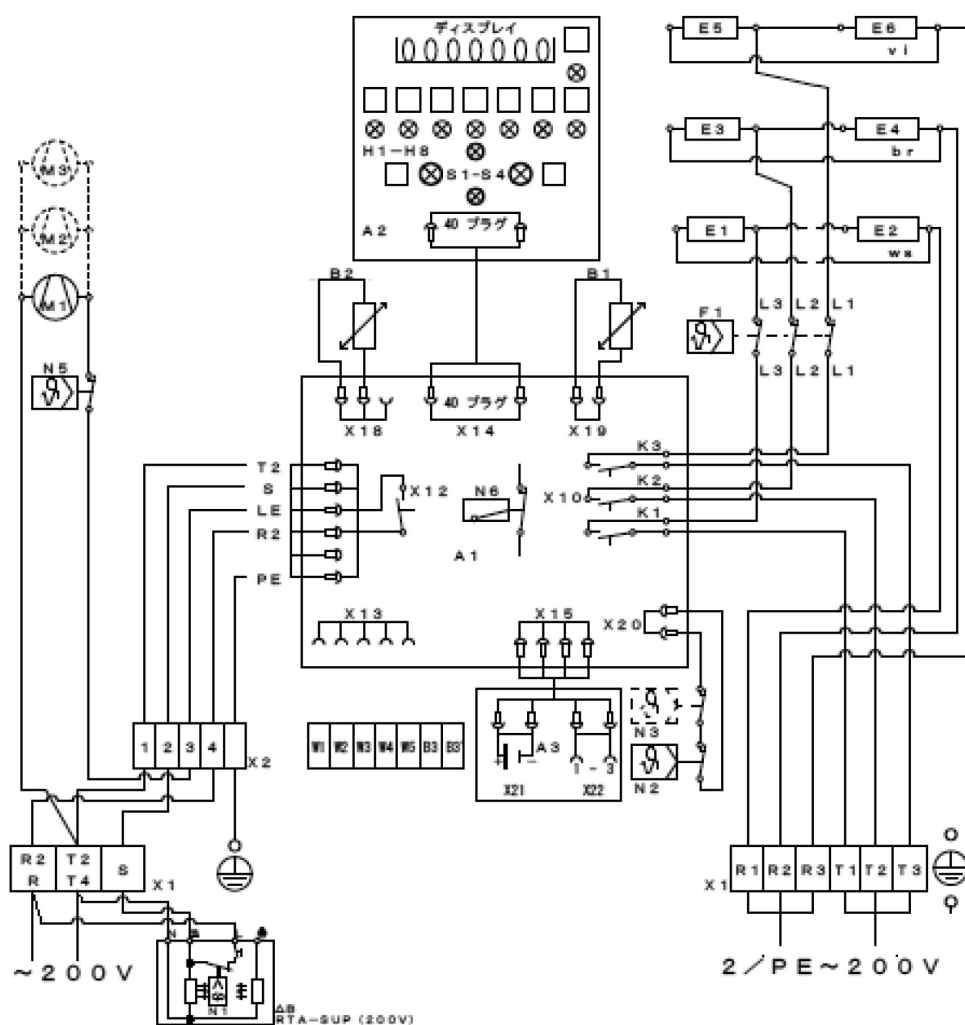
- A1: 電子基板
- A2: 表示部基板
- A3: サービスプラグ
- B1: 蓄熱体センサー
- B2: 室温センサー
- E1-E6: ヒーター
- F1: 手動復帰式過昇温防止器
- H1-H8: 表示ランプ
- K1-K3: リレー
- M1-M3: ファン
- N2: 蓄熱異常バイメタル
- N3: 蓄熱異常バイメタル (6 kW、7 kWのみ)
- N5: 放熱異常バイメタル
- X1: 主回路端子台
- X2: 補助回路端子台

単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルを接続します。

＜通電開始時間＞と＜通電時間＞は、電力契約に合わせて変更します。

5-4. WSP-22TFFシリーズ

型 名	WSP-222TFF	WSP-3222TFF	WSP-4222TFF	WSP-5222TFF	WSP-6222TFF	WSP-7222TFF
通電開始時間	18:00 (初期設定)					
通電時間	24時間 (初期設定)					
ヒーター 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	7
	定格電流 (A)	10	15	20	25	35
ファン 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	8	10	16	18	26
	台 数	1	1	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34
制御 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力	2W				



- A1 : 電子基板
- A2 : 表示部基板
- A3 : サービスプラグ
- B1 : 蓄熱体センサー
- B2 : 室温センサー
- E1-E6 : ヒーター
- F1 : 手動復帰式過昇温防止器
- H1-H8 : 表示ランプ
- K1-K3 : リレー
- M1-M3 : ファン
- N2 : 蓄熱異常バイメタル
- N3 : 蓄熱異常バイメタル (6 kW、7 kW)
- N5 : 放熱異常バイメタル
- N6 : 耐震センサー
- X1 : 主回路端子台
- X2 : 補助回路端子台

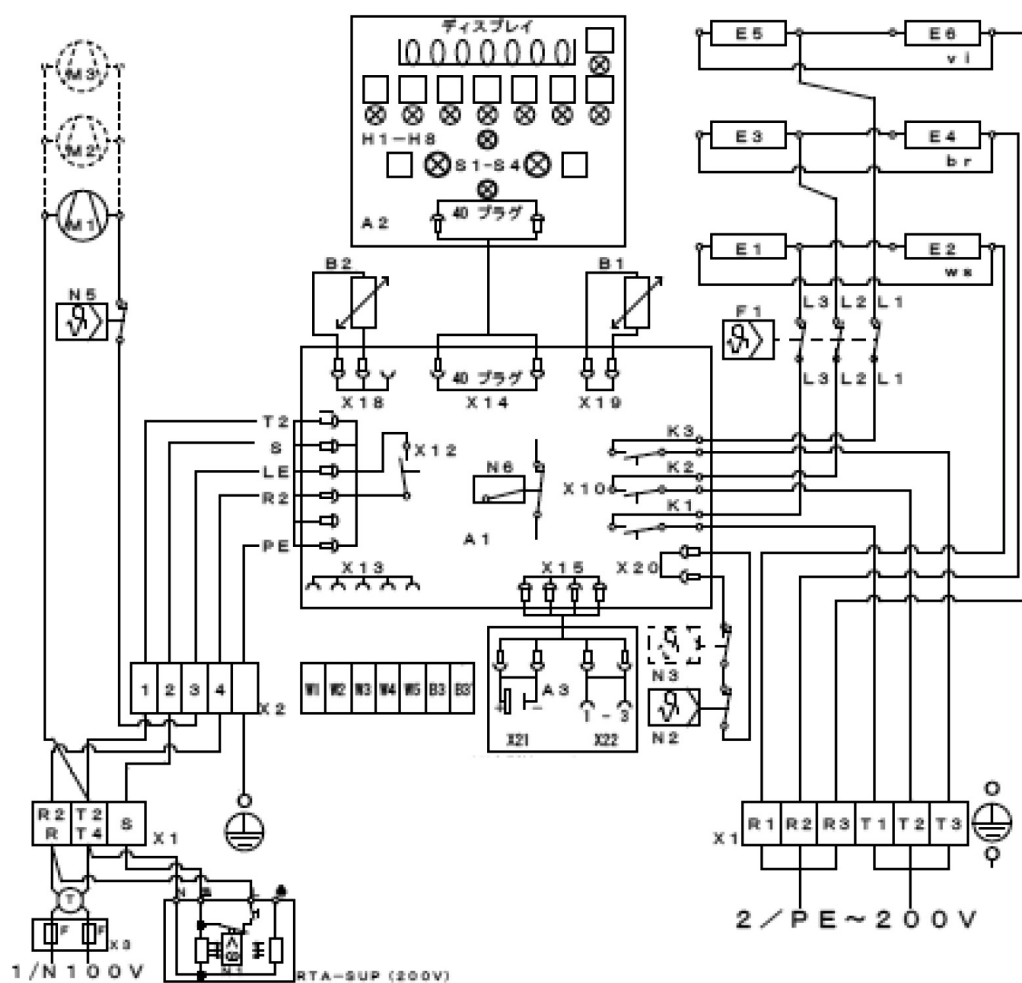
単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルを接続します。

また、単相200V2芯の屋内配線と、機器に接続されている2芯の電源ケーブルを接続します。

<通電開始時間>と<通電時間>は、電力契約に合わせて変更します。

5-5. WSP-TFJ/Tシリーズ

型 名	WSP-200TFJ/T	WSP-300TFJ/T	WSP-400TFJ/T	WSP-500TFJ/T	WSP-600TFJ/T	WSP-700TFJ/T
通電開始時間	23:00 (初期設定)					
通電時間	8時間 (初期設定)					
ヒーター 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	2	3	4	5	7
	定格電流 (A)	10	15	20	25	35
ファン 定格	電源 周波数	単相 200V 50/60Hz				
	消費電力 (kW)	8	10	16	18	20
	台 数	1	1	2	2	3
	騒音 (dB)	30	32	33	34	34
制御 定格	電源 周波数	単相 100V 50/60Hz				
	消費電力	60W (トランス容量)				



- A 1 : 電子基板
- A 2 : 表示部基板
- A 3 : サービスプラグ
- B 1 : 蓄熱体センサー
- B 2 : 室温センサー
- E 1 - E 6 : ヒーター
- F 1 : 手動復帰式過昇温防止器
- H 1 - H 8 : 表示ランプ
- K 1 - K 3 : リレー
- M 1 - M 3 : ファン
- N 2 : 蓄熱異常バイメタル
- N 3 : 蓄熱異常バイメタル
(6 kW、7 kWのみ)
- N 5 : 放熱異常バイメタル
- X 1 : 主回路端子台
- X 2 : 補助回路端子台
- X 3 : ヒューズホルダー
- T : アップトランス
- F : ヒューズ

単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルを接続します。

また、単相100V2芯の屋内配線と、機器に接続されている2芯の電源ケーブルを接続します。

<通電開始時間>と、<通電時間>は、電力契約に合わせて変更します。

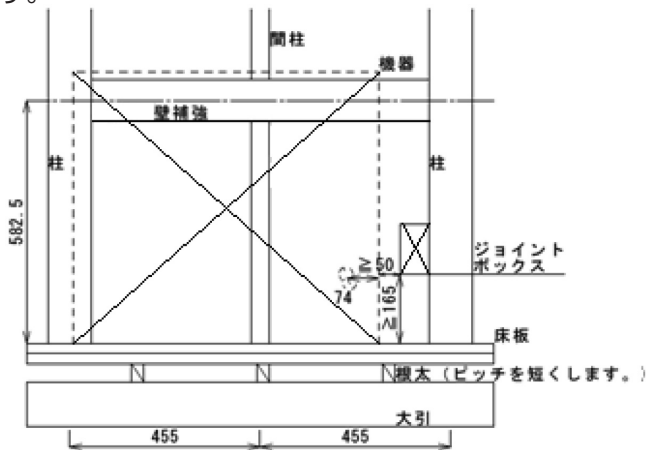
6. 機器設置前の準備

6-1. 設置場所の確認

- ①機器設置位置の床に、機器の質量に耐える補強がしてあることを確認します。
- ②機器設置位置に畳や、じゅうたん、クッションフロア等が敷かれていないことを確認します。
- ③機器設置位置の床面の傾斜が水平であること（床の傾斜 $\leq 3 / 1000$ ）を確認します。
- ④機器設置位置の壁が、合板等で柱や間柱（床 582.5mm の高さ）に固定してあることを確認します。
- ⑤機器設置位置の右端から 50mm 以上離れた位置のジョイントボックス内で、屋内配線と電源ケーブルを接続できることを確認します。
- ⑥屋内配線が、内線規程に適合した配線であることを確認します。
- ⑦機器の離隔距離が守れることを確認します。

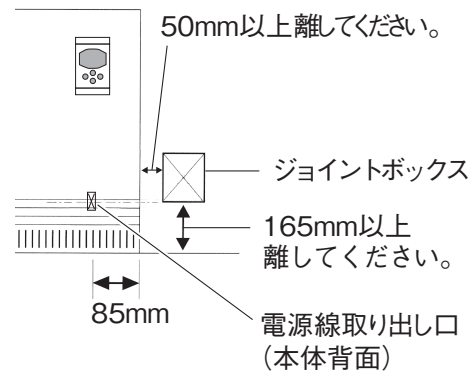
MEMO

- 左面の離隔は、 150mm 以上とすると機器の固定作業がやりやすくなります。
- ⑧壁紙、床材等は熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものが使用されていることを確認します。



6-2. 電源配線の確認

- ①機器設置位置の右端から 50mm 以上離れた位置にプレート付きジョイントボックス（深型）を設けてください。（ 6 kW 、 7 kW タイプはダブルサイズを用意してください。）
- ②ヒーター用電源 200V 単相（三相の場合は三相アース付き）の1次側配線を予め準備してください。
- ③WSP-TFJ / Tシリーズを設置する場合は、制御用電源 100V 単相の1次側配線を予め準備してください。
- ④WSP-TFJ / Tシリーズ以外で、二電源仕様（ヒーター用と制御用で別電源）を採用している場合は、制御電源用の 200V の1次側配線予め準備してください。



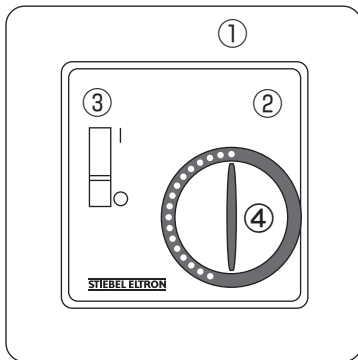
※総消費電力で 200V 配線（アース付）の電線太さは変わります。

総消費電力 (kW)		2	3	4	5	6	7
漏電ブレーカ 定格電流 (A)		15	20	30	40	40	50
分岐回線の 最小太さ	VV (mm)	1.6 (20)	1.6 (15)	2.6 (26)	3.2 (30)	3.2 (30)	14 (41) mm ²
	CV (mm ²)	2 (20)	2 (14)	2 (9)	3.5 (13)	3.5 (13)	5.5 (16)

() 内の数値は単相 200V の場合における電圧降下 2% のときの電線こう長です。この数値以上の長さが必要な場合は、1段階太い電線をご使用ください。

6-3. 外付けルームサーモ（オプション）の配線

6-3-1. 外付けルームサーモの仕様



- 1：化粧プレート
2：表示部カバー
3：ON/OFFスイッチ
4：室温設定ダイヤル

型 式	RTA-S UP
電 源(V)	200
定格電流・抵抗負荷(A) ()内は誘導負荷	10(4)
寸法(mm) (全 体) (埋め込み部)	(H × W × D) 80.5 × 80.5 × 43.0 52.0 × 52.0 × 23.5
設定範囲(℃)	5～30
質 量(g)	80

外付けルームサーモRTA-SUPの取付方法の詳細については、RTA-SUPに同梱の取扱取付説明書をご参照願います。

6-3-2. 設置場所の選定

①次のような場所での使用は避けてください。誤動作、寿命低下、事故につながる恐れがあります。

- 湿気、ほこり、腐食性ガスの多い場所
- 外気、屋外の影響を受けやすい場所
- 外来ノイズの多い場所
- カーテンや扉等で塞がれてしまう場所
- 暖房器の1.5m以内
- 結露の恐れがある場所
- 直射日光のあたる場所
- 化粧プレートが壁体内部になる場所
- 玄関ドア、窓の1m以内
- 振動、衝撃の多い場所
- 油や油煙がかかる場所
- 床面

②保守、点検は電源を切った状態で行なってください。

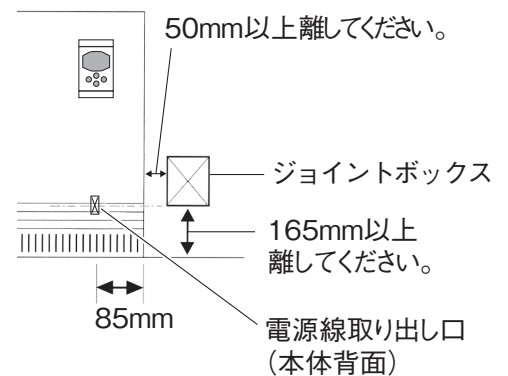
③内線規程に従って、電気工事士の資格を持っている方が作業してください。負荷電流に対して、配線の太さ、端子のサイズ、電気容量を確認して作業してください。

6-3-3. 取り付け前の準備

①機器設置位置の右側から50mm以上離れた位置にジョイントボックスを設置します。

(電源ケーブル用のジョイントボックスと共有することができます。)

②①で設置したジョイントボックスに引き込むよう、機器と外付けルームサーモ間に3芯1.25mm²以上のケーブルの配線を準備します。

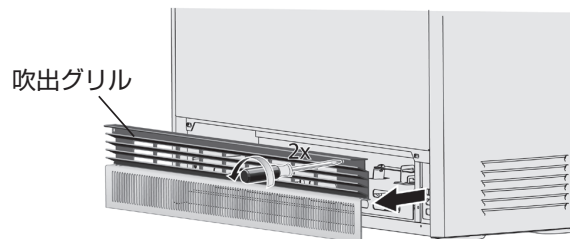


7. 機器の設置

7-1. 背面固定金具の取り付け

7-1-1. 外装の取外しかた

- ①吹出グリル中央の固定ネジ2本をプラスドライバーで反時計回りに半回転し、吹出グリルを手前に引いてを外します。



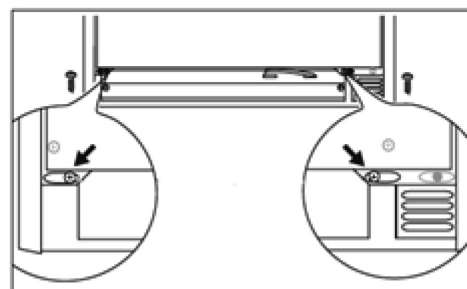
MEMO

- 前面パネルは吹出グリルが付いている状態では外せません。

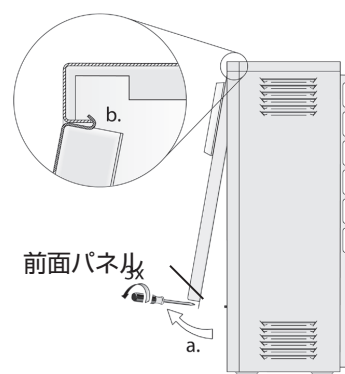
- ②前面パネルを固定している3ヶ所のネジをプラスドライバーで外します。

正面から見て左端にM4×8ネジ1本

正面からみて右側にM4×8ネジ1本（歯付座金付き）



- ③前面パネルは、右図の「a」の矢印の方向に前面パネル下部を手前に引き、上に少し押し上げて、天板パネルの「b」の引っ掛かりを外して機器から外します。



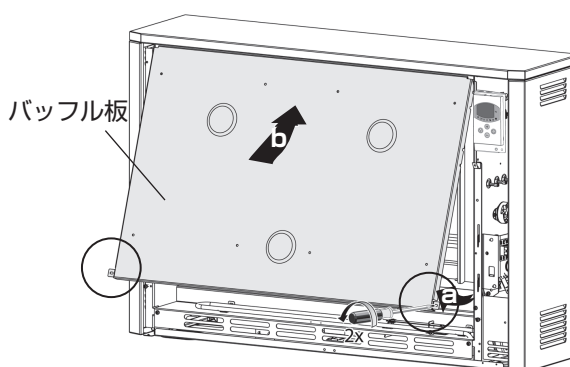
- ④バッフル板下部両端のM4×8ネジ2本をプラスドライバーで外します。

600Tシリーズは、その他に中央下部にある固定ネジM4×35を1本外します。

700Tシリーズは、その他に中央下部にある固定ネジM4×35を2本外します。

- ⑤矢印「a」の方向にバッフル板下部を引き上げ、矢印「b」の方向にバッフル板を押し上げて外します。

- ⑥機器内部にある対流板や、壁固定金具セット等を取り出します。



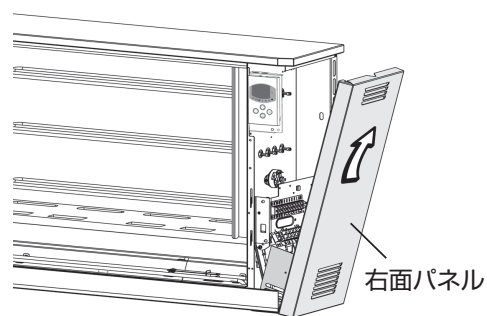
MEMO

- ヒーターを固定しているダンボールは、蓄熱体を入れるまで外さないようにします。

- ⑦右面パネルの上部背面側のM4×8ネジ1本（歯付座金付き）をプラスドライバーで外し、右面パネル上部を少し前方に移動させて天板から外し、右面パネルを右図の矢印の方向に持ち上げ、下面の突起2ヶ所から外します。

MEMO

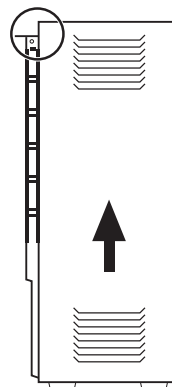
- 右面パネルは、前面パネルを外さなくても、外すことができます。



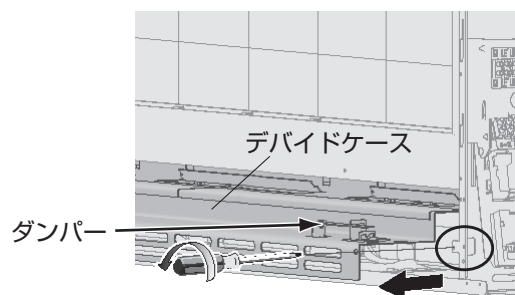
- ⑧左面パネルの上部背面側のM4×8ネジ1本（歯付座金付き）をプラスドライバーで外します。
⑨左面パネル上部を少し前方に移動させて天板から外し、矢印の方向に持ち上げ、下面の突起2ヶ所から外します。

MEMO

- 左面パネルは、前面パネルを外さなくても、上記⑧⑨の作業で外すことができます。

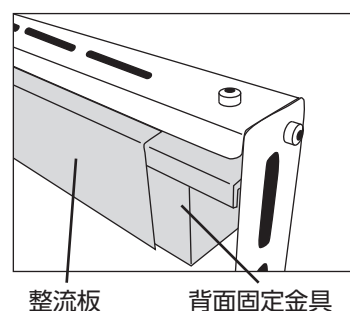


- ⑩デバイドケース両端のM4×8ネジ2本をプラスドライバーで外し、デバイドケースのダンパーを下へ軽く押しながら矢印の方向に引き、機器から外します。

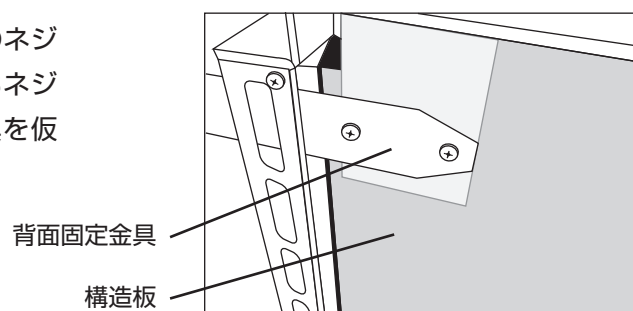


7-1-2. 背面固定金具の固定

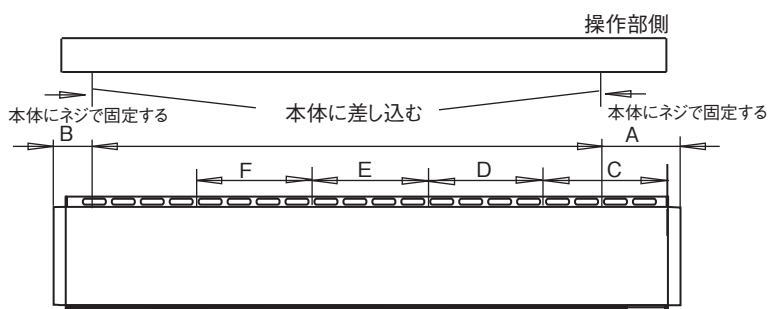
- ①背面のインシュロックを切断し、整流板を機器から外します。



- ②背面固定金具を固定しているテープを剥がし、構造板のネジ穴と背面固定金具のネジ穴を合わせて、付属のM4×8ネジ4本と歯付座金（左右それぞれ2ヶ所）で背面固定金具を仮止めします。



- ③機器を固定位置に置き、背面固定金具の位置を壁面にマークします。



壁固定位置

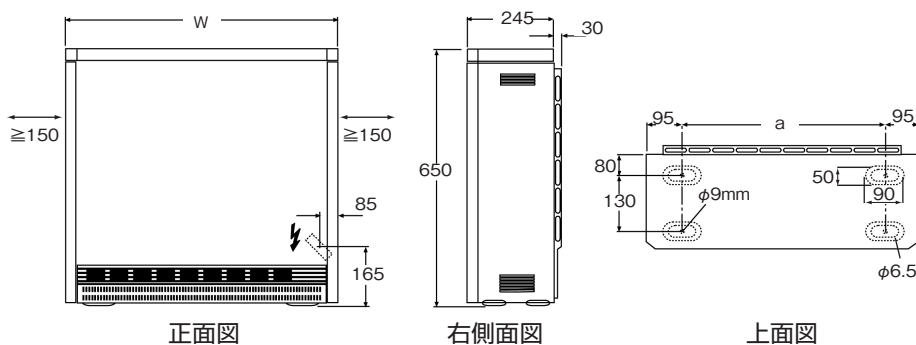
単位 mm

型名	A	B	C	D	E	F
WSP-200TFJ 2×TFF 200TFJ/T	137.5	69.0	208.0	—	—	—
WSP-300TFJ 3×TFF 300TFJ/T			295.0	—	—	—
WSP-400TFJ 4×TFF 400TFJ/T			284.0	198.0	—	—
WSP-500TFJ 5×TFF 500TFJ/T			278.5	192.0	192.0	—
WSP-600TFJ 6×TFF 600TFJ/T			320.0	232.0	232.0	—
WSP-700TFJ 7×TFF 700TFJ/T			311.0	223.0	223.0	223.5

- ④機器前面2ヶ所の床固定位置を床面にマークします。

MEMO

- 前面右側には2ヶ所の穴が開いてありますが、 $\phi 6.5$ の穴のみにマークします。

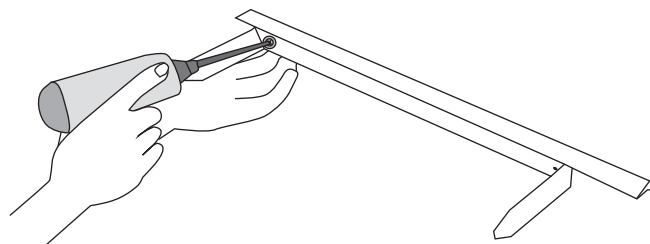


床固定位置

単位 : mm

型名	W	a
WSP-200TFJ 2×TFF 200TFJ/T	605	440
WSP-300TFJ 3×TFF 300TFJ/T	780	615
WSP-400TFJ 4×TFF 400TFJ/T	955	790
WSP-500TFJ 5×TFF 500TFJ/T	1130	965
WSP-600TFJ 6×TFF 600TFJ/T	1305	1140
WSP-700TFJ 7×TFF 700TFJ/T	1480	1315

- ⑤機器を壁面から離し、背面固定金具を機器から外します。
 ⑥床にマークした場所に $\phi 4$ の下穴を20mm開けます。
 下穴を開けることで、床固定ネジを固定しやすくします。
 ⑦背面固定金具を事前にマークした壁面に合わせてM6×40ネジとワッシャーで固定します。



おねがい

- 背面固定金具を壁に取り付ける際は、必ず機器に応じた指定本数のネジとワッシャー (P.22「3.部品の確認」を参照) を使用してください。
 ○プラスターボードや壁の厚み等により同梱のネジでは長さが長すぎる場合や、短い場合は、直径6 mmの適切な長さのネジをご用意ください。

7-2 配線の接続

7-2-1. 電源ケーブルとの接続

- ①屋内配線と機器の電源ケーブルを圧着接続します。
- ②接続部はジョイントボックスに収納します。
- ③機器の黄色/緑のアース線を屋内配線のアース線と圧着接続します。



○6kW、7kWのヒーター容量の機器は、必ず下表のリングスリーブを使用します。

	暖房器のヒーター容量	スリーブ	対応燃線
VVケーブル	6kW	P形 P14	10.52~16.78mm ²
	7kW	P形 P22	16.78~26.66mm ²
CVケーブル	6kW	P形 P8	6.64~10.52mm ²
	7kW	P形 P14	10.52~16.78mm ²

- スリーブの絶縁処理は、自己融着テープを使用します。
- 電源ケーブルは、決して減線等せず、ケーブルの太さに適したスリーブを使用します。

7-2-2. 外付けルームサーモとの接続

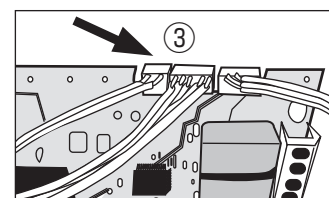
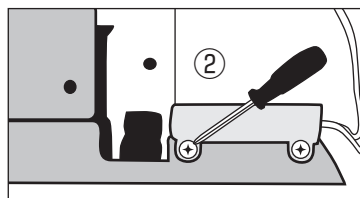
外付けルームサーモの取付方法の詳細は、同梱の取扱取付説明書をご参照願います。

①付属品を確認します。

- | | |
|--------------------------|---|
| i) 外付けルームサーモ …………… 1台 | ii) 固定ネジ M3.5 …………… 2本 |
| iii) 取扱取付説明書 …………… 1部 | iv) 3芯 1.25mm ² 1.3mケーブル …… 1本 |
| v) RTA-S UP 取付フレーム …… 1個 | |

②機器正面右下にある室温センサーを固定するネジ2本を外します。

③基板(大)から矢印の室温センサーのコネクタを外し、廃棄します。

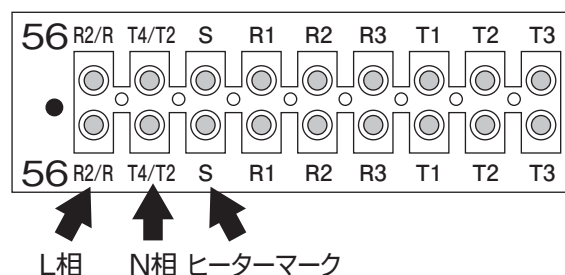


④外付ルームサーモからの3芯1.25mm²以上の耐熱ケーブルを右図の矢印の位置に接続します。

L相の配線を、端子台「R2/R」の1次側に接続。

N相の配線を、端子台「T2/T4」の1次側に接続。

「ヒーターマーク」の配線を、端子台「S」の1次側に接続。



7-2-3. 端子の増締めと配線の確認

全ての端子台の端子、アース線、電源ケーブルを電氣的に接続しているネジを増締めしてください。
結線図とおりに結線されていることを確認してください。

- ①WSP-TFJシリーズの場合 (P.23「5-1項」参照)
- ②WSP-08TFFシリーズの場合 (P.24「5-2項」参照)
- ③WSP-10TFFシリーズの場合 (P.25「5-3項」参照)
- ④WSP-22TFFシリーズの場合 (P.26「5-4項」参照)
- ⑤WSP-TFJ/Tシリーズの場合 (P.27「5-5項」参照)

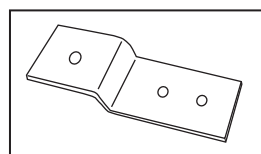
7-3 機器の固定

7-3-1. 壁面・床面への固定

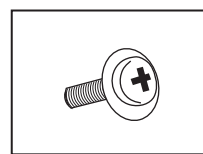
①天板パネルの背面側に、背面固定補強金具（以下、補強金具）を固定します。

補強金具の先端を機器の背面上端に当ててから、反対側を上を持ち上げます。

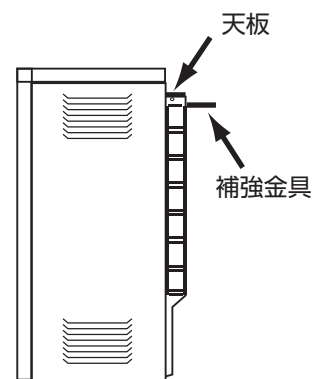
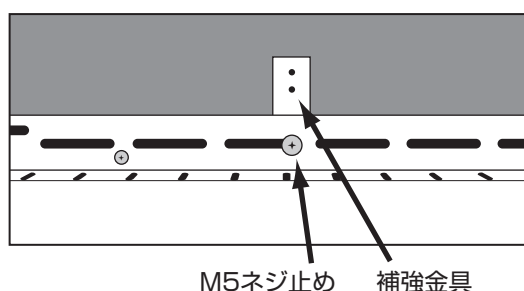
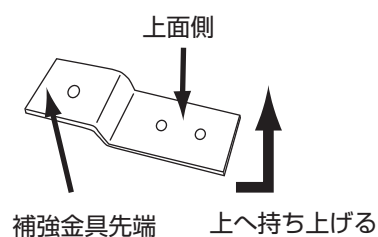
天板パネル側からM5×10Wのネジで、下記の取り付け位置にプラスドライバーで固定します。



・背面固定補強金具



・背面固定補強金具固定ネジ
M5×10Wセムスネジ



単位：mm

型 名	補強金具数量	取付位置 背面固定金具の左端から	(参考) 背面固定金具の右端から
WSP-200TFJ 2XXTFF 200TFJ/T	1	255	—
WSP-300TFJ 3XXTFF 300TFJ/T	1	345	—
WSP-400TFJ 4XXTFF 400TFJ/T	1	430	—
WSP-500TFJ 5XXTFF 500TFJ/T	1	540	—
WSP-600TFJ 6XXTFF 600TFJ/T	2	215	—
		1020	215
WSP-700TFJ 7XXTFF 700TFJ/T	3	210	—
		715	695
		1220	190

MEMO

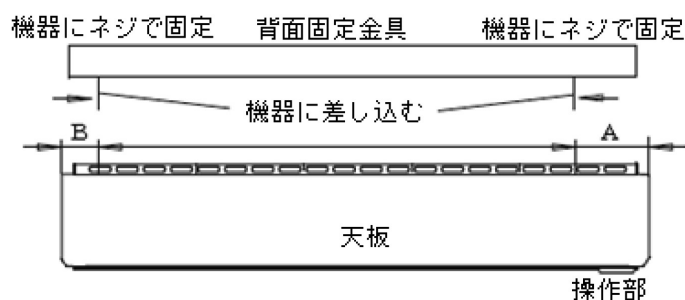
○天板パネルの長穴と背面固定金具の長穴が、壁面に対して一直線上となる位置で補強金具を取り付けます。

○目印のためにネジ等を天板パネルの長穴に差し込んでおきます。

②背面固定金具の左右各1本の突起を、機器の所定の穴に差し込みます。

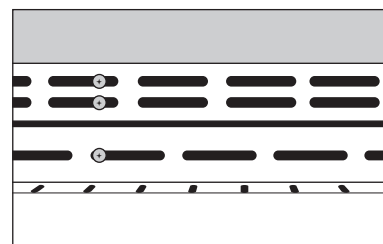
A: 137.5mm

B: 69.0mm

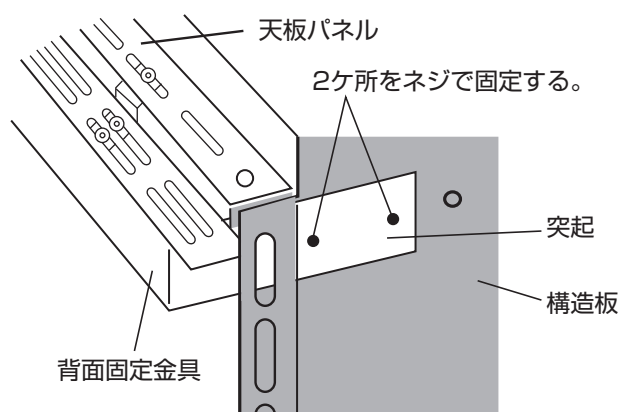


③補強金具が、背面固定金具上面の下になるように差し込みます。

④補助金具と背面固定金具をM5×10Wネジ2本で背面固定金具の上面側からプラスドライバーで固定します。



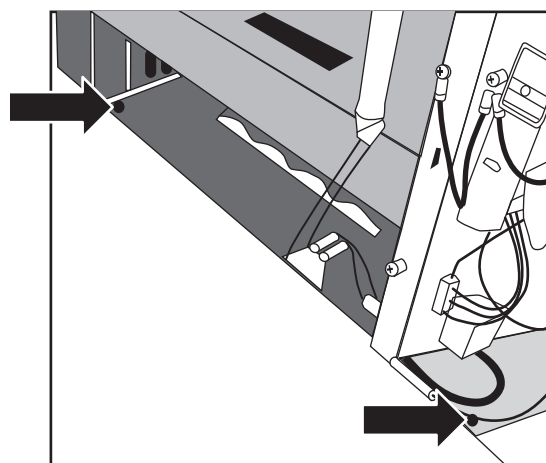
⑤背面固定金具を機器両側面の構造板に付属のM4×8ネジ4本（左右各2本）と歯付座金で所定の位置にプラスドライバーで固定します。



⑥床に開けた下穴2ヶ所と、機器下面の前面側の穴を合わせて、付属のM6×30ネジとワッシャーで床に固定します。

MEMO

○右側のネジが固定しづらい場合は、基板架台を固定している背面のネジを1本緩め、基板架台を本体から外した状態で固定してください。

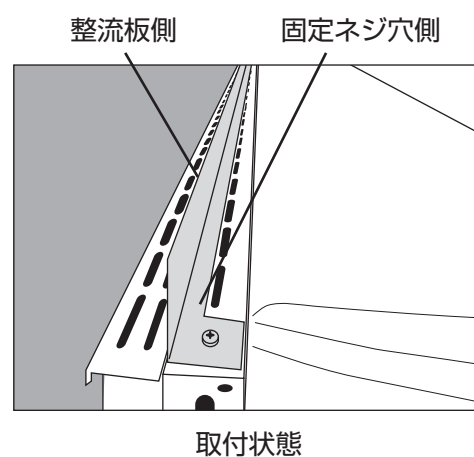


7-3-2. 整流板の取り付けかた

機器を設置する場合は、付属の整流板を必ず取り付けてください。

①整流板は、両端の固定ネジ穴側が前面側になるように、天板パネル両端のネジ穴に合わせます。(5kW以上の機器は整流板中央の突起を、天板パネル中央のネジと天板パネルの間に差し込みます。)

②整流板両端のネジ穴と、天板パネル両端の穴を合わせてまとめて固定します。(5kW以上の機器は、天板パネル中央のネジを締めつけます。)



7-4. 蓄熱体の組み込み

7-4-1. ファンモーターの養生

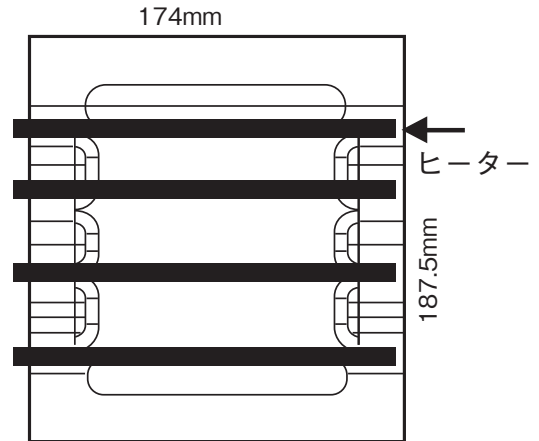
- ①蓄熱体から欠片やくず等の落下物が、ファンモーター内部に入らないように機器を梱包していたプラスチックシート等を利用して、ファンモーターのフィン部分を覆うように養生してください。
- ②養生用シートが機器内部に引っ掛かり、破けて残留しないように丁寧に取扱ってください。

7-4-2. 蓄熱体の取扱い

- ①蓄熱体は、すべて凹凸面が上向きになるように組み込んでください。
- ②蓄熱体は、前後左右対称です。
- ③ヒーターが溝と平行になるように組み込んでください。
- ④必ず蓄熱体の表面や溝のバリを削り、ハケで掃除してから組み込んでください。

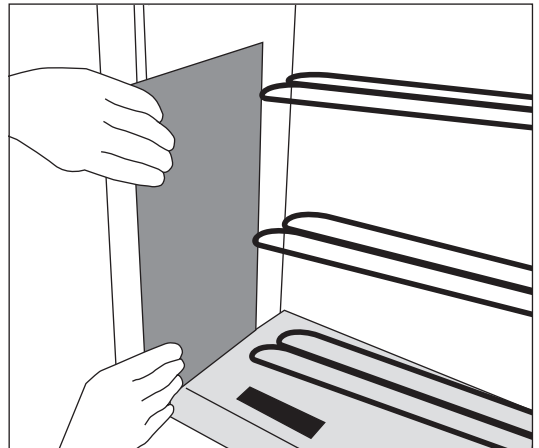


- 蓄熱体が割れている場合や、濡れている場合は機器に組み込まないでください。

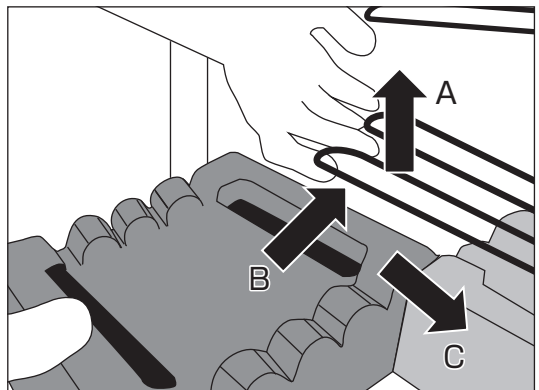


7-4-3. 蓄熱体の組み込み

- ①左側の断熱材が破損しないようにするために、付属の対流板を一時的に当てておきます。

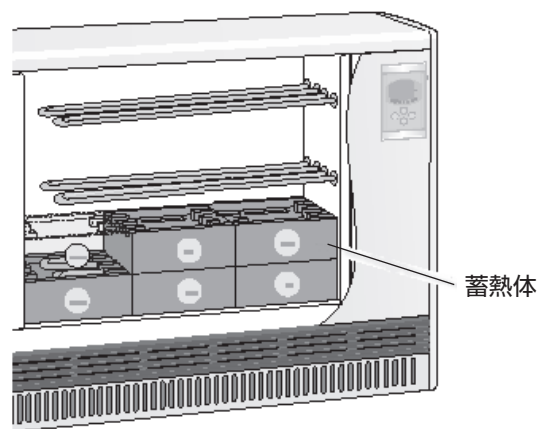


- ②ヒーターを「A」の方向に最小限の高さで持ち上げます。
- ③蓄熱体を「B」の方向に背面の断熱材に接するまで押し込みます。
- ④蓄熱体を「C」の方向に蓄熱体、または断熱材に接するまでずらします。



- 断熱材のカバーを破らないようにしてください。
- 蓄熱体間に隙間が生じないように右側に詰めてください。

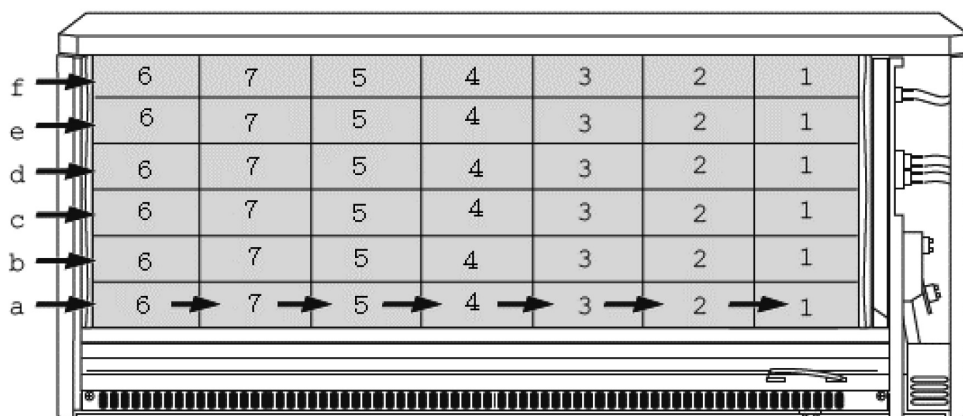
⑤下の段から順番に蓄熱体を組み込みます。



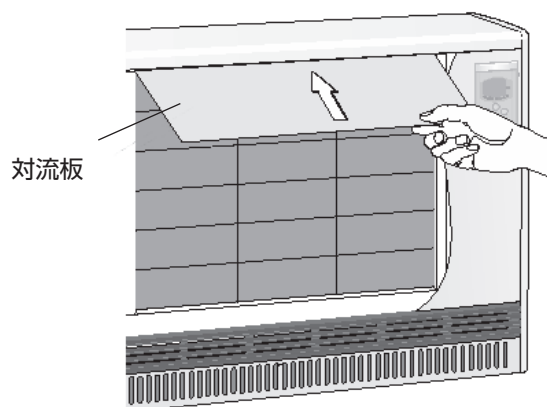
⑥右端から左方向に向けて順番に蓄熱体を組み込みます。左端から2番目の蓄熱体を組み込む前に左端の蓄熱体を組み込みます。

MEMO

○3kWから7kWの各機種種の横方向の組み込み図を下図に示します。



⑦蓄熱体を全て組み込んだ後、左端から対流板を引抜き、蓄熱体の最上部に差し込みます。



おねがい

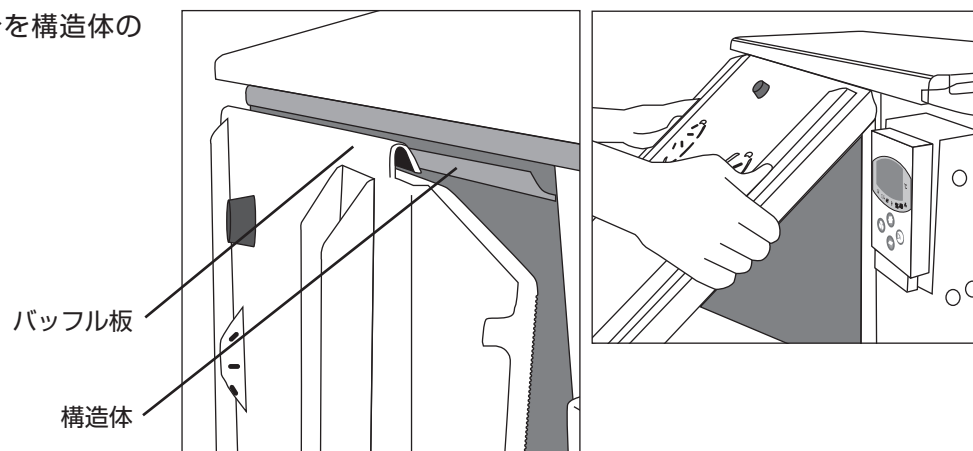
○全ての蓄熱体を組み込み後、再度、機器が床面に対して水平であることを確認してください。

7-5. 機器外装の組み付け

7-5-1. 内蔵部品の取り付け

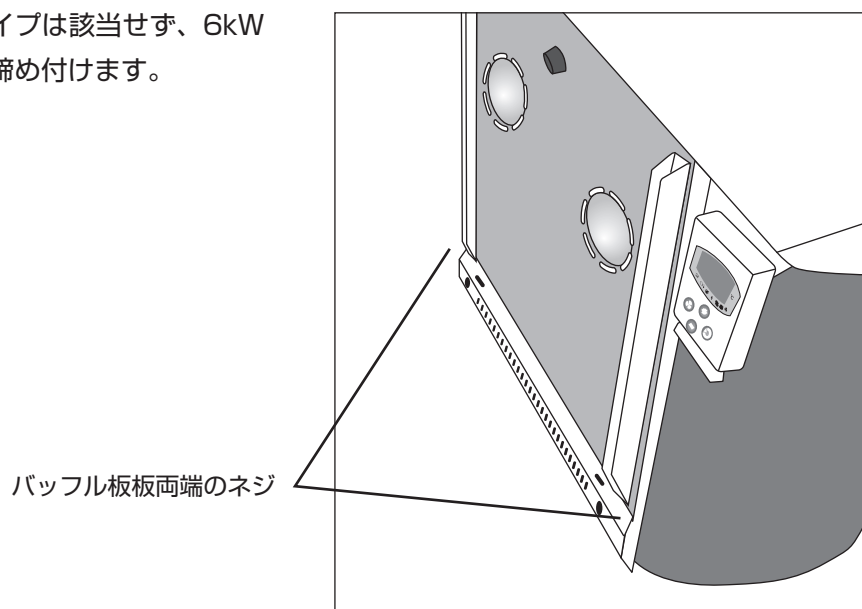
(1) バッフル板

- ① バッフル板上部の引掛け部分を構造体の所定の位置に引掛けます。



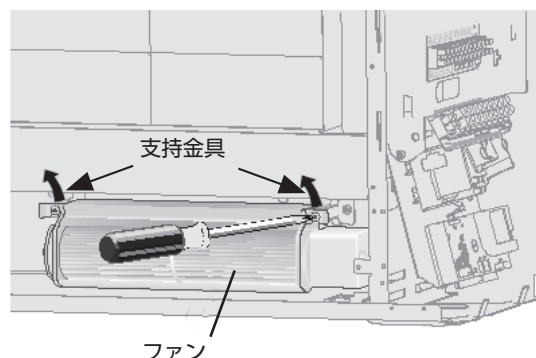
- ② バッフル板中央のネジ (5kW以下のタイプは該当せず、6kWタイプは1本、7kWタイプは2本) を締め付けます。

- ③ バッフル板両端のネジを締め付けます。



(2) ファンの清掃

- ①蓄熱体の欠片等が落ちないように養生に使用した、プラスチックシートを取り出します。
- ②ファンを固定している両端の支持金具のネジ各1本をプラスドライバーで緩めます。(外す必要はありません。)
- ③ファンを矢印の方向に持ち上げ、支持金具から外します。
- ④ファンを外した後、ファンがスムーズに回転するか、ファンの回転に歪みがないか確認します。
- ⑤ファンのケーシング内に蓄熱体の欠片が入ってしまった場合は、除去してください。
- ⑥ファンを支持金具に載せ、ファンの配線がファンに接触しないようにネジで固定します。
- ⑦掃除機等を使用してファン周囲を清掃してください。



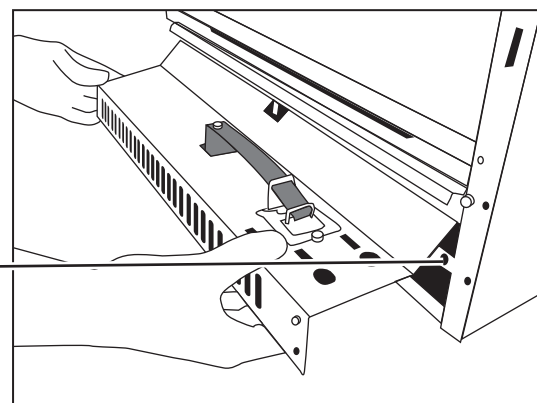
おねがい

- ファンが床に対して水平になるように固定してください。ファンを傾けて設置すると異音や、ファンの寿命が短くなる可能性があります。
- ネジを締付け過ぎないでください。ネジを締付け過ぎると熱膨張により異音が発生する場合があります。
- 機器の下面についているプラスチックの板は、共振防止用の部品ですので外さないでください。

(3) デバイドケースの固定

- ①デバイスケースの上部を機器内部の突起に置きます。
- ②デバイスケース前部をデバイスケース固定用ネジ穴に置き、ネジ穴を合わせます。

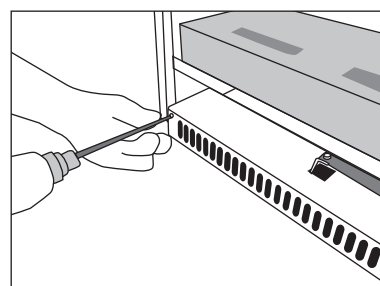
固定用ネジ穴



- ③デバイスケース両端をM4×8ネジ2本で内部配線を挟み込まないように固定します。

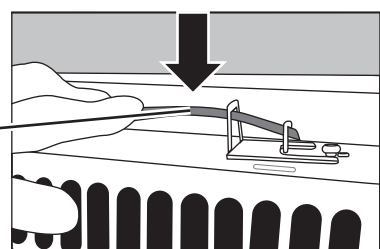
おねがい

- ネジを締めすぎないでください。熱膨張により音が発生、ネジ山が破損する等の可能性があります。



- ④放熱異常バイメタルを下に押し、ダンパーの開閉がスムーズに行なえることを確認します。

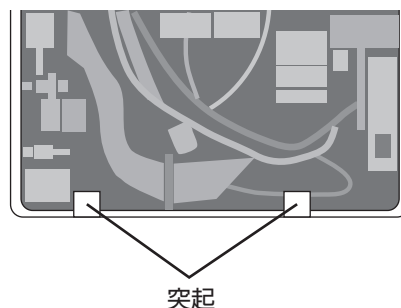
放熱異常
バイメタル



7-5-2. 外装パネルの取付け

(1) 右面パネル、左面パネル

①矢印の方向から機器下部の突起に、右面パネル下部の穴を差し込みます。



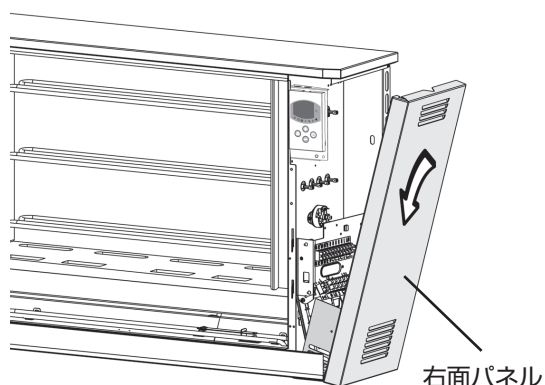
②上記の穴から突起が外れないように、天板パネルに右面パネルを引っ掛けます。

③右面パネルを前から後にずらして固定します。

④前面パネルを取り付けた後、前面パネル右下の右面パネル固定用ネジ穴をM4×8ネジと歯付座金で止めて、内部配線を挟み込まないよう右面パネルを固定します。

⑤左面パネルも同様に取付けてください。

⑥左面パネルは、取付け後、背面側上部をM4×8ネジと歯付座金で固定します。

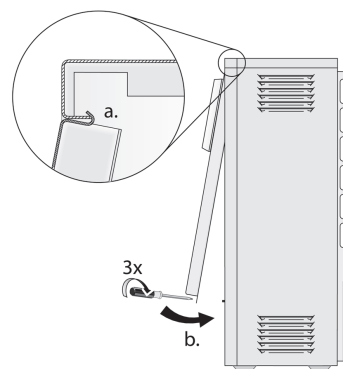


(2) 前面パネル

①天板パネルの図「a」の部分に前面パネルを引っ掛けます。

②天板パネルを矢印「b」の方向に押します。

③前面パネル固定用ネジ穴2ヶ所をM4×8ネジで固定します。
右側の前面パネル固定用ネジ穴には、歯付座金も使用します。

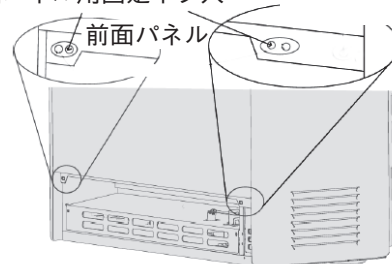


🔧 おねがい

○天板パネルと前面パネルの間に隙間ができないように注意してください。

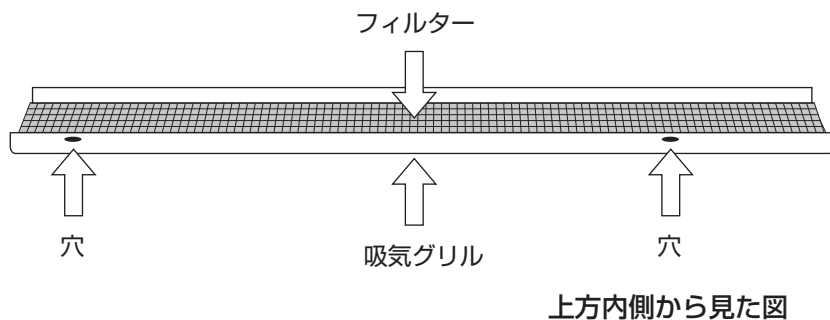
○側面パネルとの間に大きい隙間ができる場合は、バッフル板を一度外し、取り付け直してから、前面パネルを再度取り付けてください。

前面パネル用固定ネジ穴



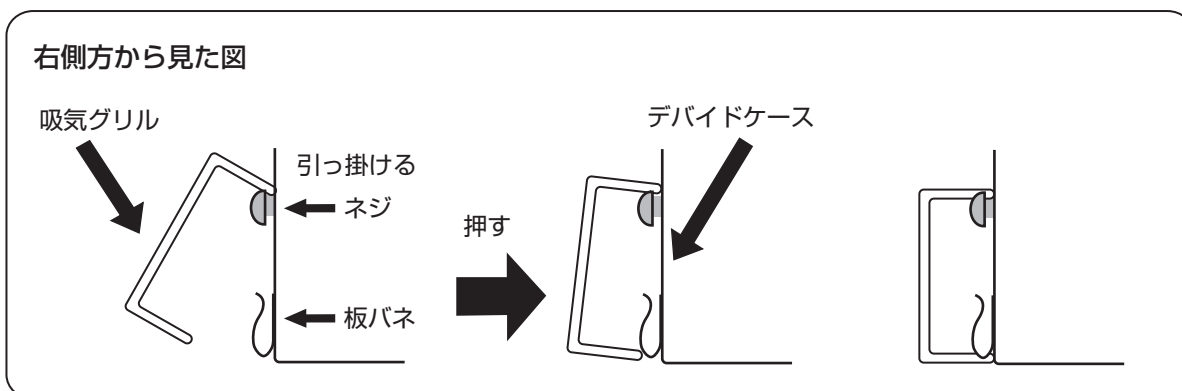
(3) 吸気グリル、吹出グリル

①吸気グリルの内側にフィルターを入れます。

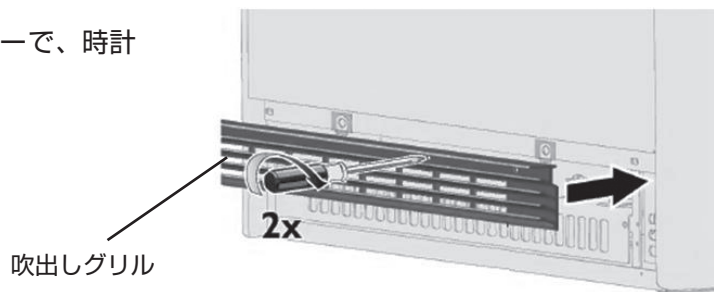


②デバイドケースのネジに吸気グリルの上側の穴を引掛けます。

③吸気グリルの下端を機器下部の板バネに押し付けて固定します。



④吹出グリル固定ネジ (2ヶ所) をプラスドライバーで、時計回りに半回転締め固定します。

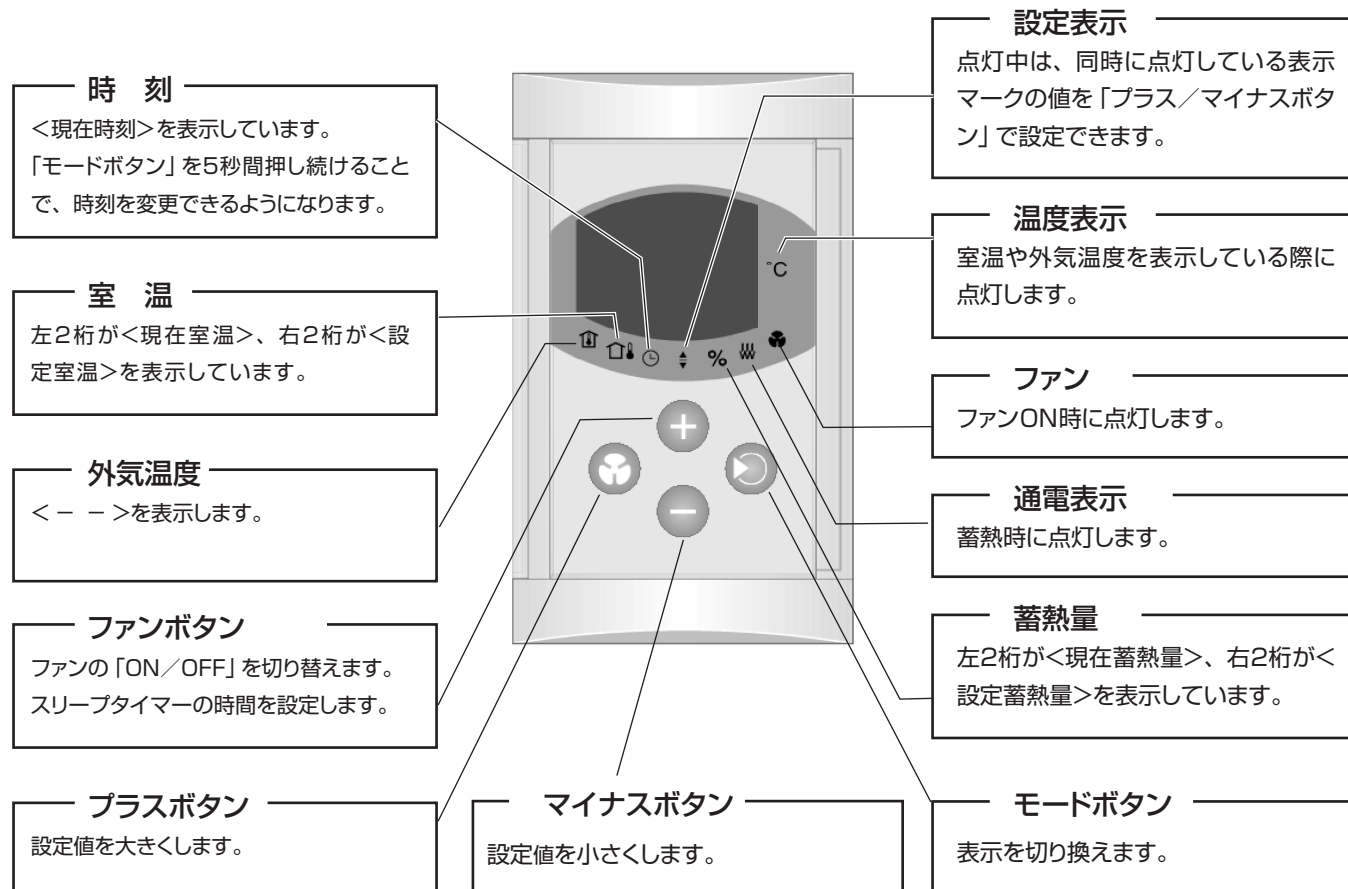


8. 試運転の手順

お客様への引き渡し前に必ず試運転を行なってください。

試運転後は、必ず検査記録、保証書、及び保証書（写）に必要事項を記入してください。

(1) 試運転



①200Vの専用ブレーカを「入」(ON)にして機器に電気を供給してください。

MEMO

○WSP-X08TFJシリーズ、WSP-X22TFJシリーズは制御側の200Vの専用ブレーカも「入」(ON)にします。

②WSP-TFJ / Tシリーズは、100Vの電気も供給してください。

③P.4「3-1項」を参照して、<現在時刻>日本の標準時、<通電開始時間>と、<通電時間>を、お客様の契約電力に合わせて設定します。

④P.6「3-2項」を参照して、<設定蓄熱量>を100%に設定します。

⑤P.10「3-3-5項」を参照して追焚きをして、電流値を計測した後、追焚きを終了し<設定蓄熱量>を0%に設定します。

⑥P.7「3-3-3項」を参照して、<設定室温>を<現在室温>より4℃以上高く設定し、操作部の「ファンボタン」を押してファンの動作を確認します。

⑦吹出グリルから風が出てくることを確認した上、操作部の「ファンボタン」を押して、ファンを停止します。

⑧専用ブレーカを「切」(OFF)にして、電源端子とアース間の絶縁抵抗を確認します。

(2) 電流値と抵抗値表

ヒーター容量	電圧 (V)	総消費電力 (kW)	単相電流値 (A)	三相電流値 (A)	単相抵抗値 (Ω)	三相抵抗値 (Ω)
WSP-200TFJ WSP-208TFF WSP-210TFF WSP-222TFF WSP-200TFJ / T	200	2.0	10	5.8	20.0	40.0
WSP-300TFJ WSP-308TFF WSP-310TFF WSP-322TFF WSP-300TFJ / T		3.0	15	8.7	13.3	26.7
WSP-400TFJ WSP-408TFF WSP-410TFF WSP-422TFF WSP-400TFJ / T		4.0	20	11.5	10.0	20.0
WSP-500TFJ WSP-508TFF WSP-510TFF WSP-522TFF WSP-500TFJ / T		5.0	25	14.4	8.0	16.0
WSP-600TFJ WSP-608TFF WSP-610TFF WSP-622TFF WSP-600TFJ / T		6.0	30	17.3	6.7	13.3
WSP-700TFJ WSP-708TFF WSP-710TFF WSP-722TFF WSP-700TFJ / T		7.0	35	20.2	5.7	11.4



おねがい

- 電流値が許容範囲に当てはまらない場合は、各ヒーターの片側の端子を外し、ヒーターの抵抗値を確認します。
抵抗値が710%の許容範囲に当てはまらない場合は、ヒーターが断線、あるいは短絡の可能性がありますので、日本スティーベル（株）まで電話でご連絡ください。
- 試運転終了後は、必ずファンをOFFし、追焚操作を終了してください。

(3) 絶縁抵抗

電気用品安全法に基づく技術基準により、機器の絶縁抵抗は1 M Ω 以上とされております。

使用開始時や長期間放置された後再使用する場合に、蓄熱体が吸湿したことにより、絶縁抵抗が減少し、運転開始後数時間で漏電ブレーカが誤作動する場合があります。このような場合は結線に誤りがなく、かつ絶縁抵抗が回復していることを確認の上、再度通電を行なってください。漏電ブレーカが即時に作動する場合は、配線、または漏電ブレーカ等に問題がある可能性があります。日本スティーベル（株）まで電話でご連絡ください。

(4) 検査記録

お客様名			
検査会社名			
検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ
機器の絶縁抵抗		絶縁抵抗値を記載	P. 42 8
ブレーカの定格電流値		ブレーカの 定格電流値を記載	P. 42 8
現在時刻の設定		チェックのみ	P. 4 3-1-1
通電開始時間設定		設定時間を記載	P. 4 3-1-2
通電時間設定		設定時間を記載	P. 4 3-1-2
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 42 8
ファンの動作		チェックのみ	P. 7 3-3-3
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 18 1
ジョイントボックスの位置		チェックのみ	P. 28 6-1
壁の補強		チェックのみ	P. 28 6-1
機器の壁固定		チェックのみ	P. 35 7-3
床の補強		チェックのみ	P. 28 6-1
機器の床固定		チェックのみ	P. 34 7-3
機器の水平設置		チェックのみ	P. 36 7-4
機器の外観		チェックのみ	_____
備考			

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		
	お名前 様		
お取り扱い店	社名	印	取扱者 印
	〒 住所		
	電話 () -		
	お取り付け日	年 月 日	

型 名	WSP-200TFJ、208TFF、210TFF、222TFF、 200TFJ / T	
	WSP-300TFJ、308TFF、310TFF、322TFF、 300TFJ / T	
	WSP-400TFJ、408TFF、410TFF、422TFF、 400TFJ / T	
	WSP-500TFJ、508TFF、510TFF、522TFF、 500TFJ / T	
	WSP-600TFJ、608TFF、610TFF、622TFF、 600TFJ / T	
	WSP-700TFJ、708TFF、710TFF、722TFF、 700TFJ / T	
製造番号	- -	
保証期間	製 品	お取り付け日から1 ヶ年

機器はお取り付け日から1 ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取り扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

1. お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

「お取り付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。

3. ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - (A) 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - (B) 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や、改造による故障や損傷の場合。
 - (C) お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取り付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - (D) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - (E) 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - (F) 一般の建物以外（例えば車輦・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - (G) 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - (H) 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - (I) 本書の提示が無い場合、お客様名、お取り扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5. 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - (A) 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - (B) 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

TEL:044-540-3203

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者
スティーベルエルترون

機器の仕様、外観、及び価格は予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。